



NOMADIC™

X300

ユーザーガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。

NOMVDIC™

NOMVDIC™は探求心溢れる人材によって創立されました。ユーザーを重視したテクノロジー企業として、当社は製品がお客様をインスパイアし、ご自宅内にとどまらず無限のエンターテインメントの可能性を解放して、好みのライフスタイルに合わせて進化できることを目指します。NOMVDICは、より高いレベルを目指す皆様のために開発されています。

繰り返しになりますが、NOMVDIC™をお選びいただき、誠にありがとうございます。

安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をお読みください。

- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低50cmは、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落したり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、当社までプロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。

- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100～240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置(UPS)を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店またはNOMVDIC™にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。



注意：この製品から、危険な光放射が放出される可能性があります。明るい光源と同様に、ビームを見つめないでください、RG2 IEC 62471:2015

内容

安全上のご注意	3
はじめに	10
付属品	10
各部の名称	11
プロジェクター	11
接続ポート	13
リモコン	14
セットアップ	16
場所の選択 - 投影方向	16
本体の接続	18
電源との接続	18
DC電源（電源コンセント）	18
USB-C電源バンク	20
バッテリーの使い方	21
外付け機器への接続	22
HDMI接続	22
USB接続	23
ワイヤレス画面ミラーリング	25

音声に接続する	26
Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー).....	26
Bluetooth Out (Bluetooth出力).....	27
ネットワークに接続する	28
Wi-Fi Connection (Wi-Fi接続).....	28
Custom SSID (カスタムSSID).....	29
NOMVDICリモコンアプリ	30
プロジェクターの使用方法	31
プロジェクターを起動する.....	31
初めて起動する場合.....	32
Manual Focus (手動フォーカス)	32
Preferred Language (使用言語).....	33
Network Settings (ネットワーク設定)	34
Bluetooth Pairing (Bluetoothペアリング).....	35
入力ソースを選択する	36
投影画像を調整する	38
プロジェクターの高さと投影角度を調整する.....	38
画像鮮明度を微調整する.....	39
プロジェクターをシャットダウンする	40

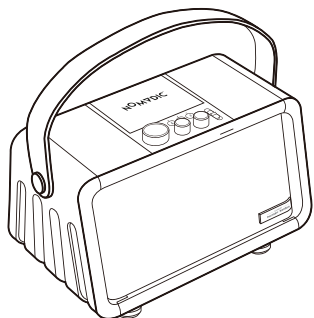
プロジェクターを操作する	41
Home Screen (ホーム画面)	41
ホーム画面 - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー	43
メニュー操作	49
File Management (ファイル管理)	49
Apps Center	56
Setting (設定)	58
Screen Mirroring (画面ミラーリング)	71
Bluetooth	72
Add App (アプリを追加)	73
選択された入力ソース — オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー	74
Image Setting (画像設定) メニュー	78
Advanced Setting (詳細設定) メニュー	82

付録.....	86
仕様.....	86
タイミングチャート.....	88
HDMIビデオタイミング.....	88
HDMI PC.....	89
USB Cのタイミング.....	91
トラブルシューティング.....	92
LEDインジケータ.....	93
メンテナンス.....	94
お手入れの際の注意.....	94
レンズを清掃する.....	94
プロジェクターを保管する.....	94

規制およびサービス情報	95
コンプライアンス情報	95
FCCコンプライアンス声明	95
欧州諸国のCE適合	97
RoHS2コンプライアンス宣言	98
インドの有害物質規制	99
著作権情報	100
カスタマーサポート	101
限定保証	102

はじめに

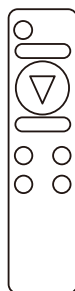
付属品



X300



リモコン電池



リモコン



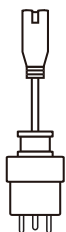
オーディオケーブル



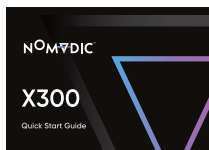
USB Cケーブル



電源アダプタ



電源コード



クイックスタートガイド



保証書



適合宣言書



スピーカーのスパイク脚

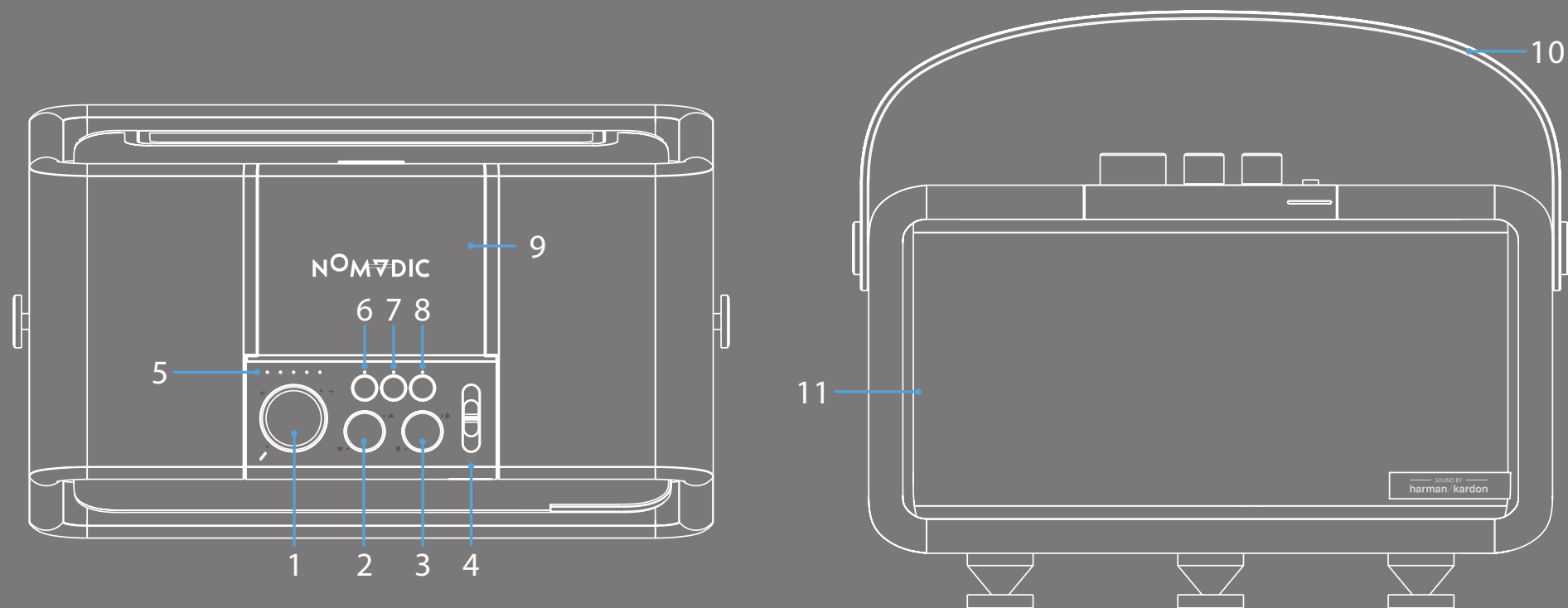


スピーカーのスパイク

注記： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細情報については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

各部の名称

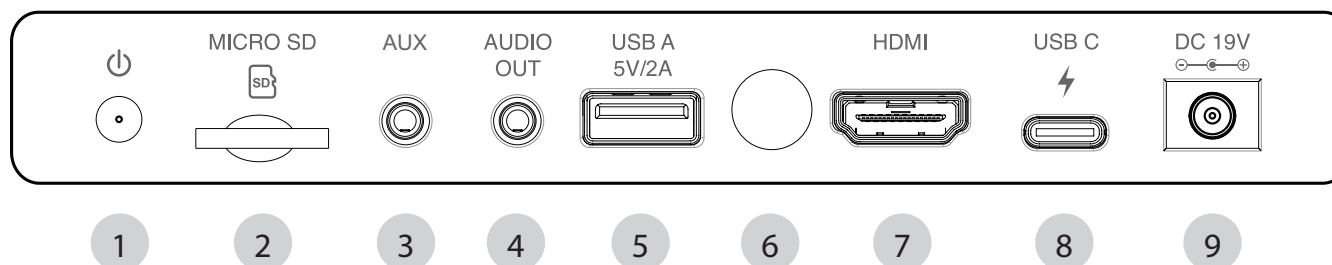
プロジェクター



項目		詳細
1	再生/一時停止、ボリューム調整ボタン	メディアプレーヤーのコンテンツを再生や一時停止 注記: Bluetoothスピーカーモードではスマートフォンなどでのコンテンツ操作はできません。
2	垂直キーストーン	垂直キーストーンの調整
3	水平キーストーン	水平キーストーンの調整
4	フォーカス調整スライダー	フォーカスの調整
5	電池インジケーター	残りの電池容量の表示
6	Bluetooth	1秒間押すとBluetoothスピーカーモード ¹ に入ります。 3秒間押し続けると、Bluetoothペアリングモードに入ります。
7	AUX	外部ソースの選択
8	スピーカーミュート	スピーカーのミュート
9	ミラー/投影角度の調整	レンズと投影ミラーのカバー
10	ハンドル	革製ハンドル
11	Harman Kardonスピーカー	Harman Kardonスピーカー

¹ X300をペアリング済みのスマートデバイスへ接続する場合は、毎回スマートデバイスのBluetooth設定から「X300」を選択してください。

接続ポート



ポート		詳細
1	電源スイッチ	電源オン/オフ
2	マイクロSD	マイクロSDソケット (最大256 GBのSDXC - FAT32/NTFS)
3	音声入力またはAUX (3.5 mmジャック)	3.5 mmジャック音声入力ソケット
4	音声出力 (3.5 mmジャック)	3.5 mmジャック音声出力ソケット
5	USB A (5V/2A出力)	USB 2.0タイプAポート (USBリーダー - FAT32/NTFS)
6	IRセンサー	IRセンサー
7	HDMI ²	HDMIポート ³
8	USB-C ⁴	USB-Cポート
9	DC入力	電源入力ソケット

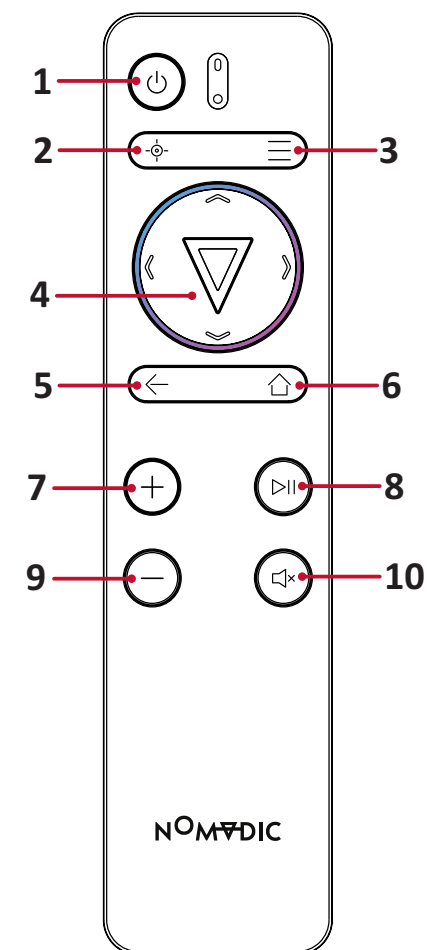
¹ HDMI 1.4、HDCP 1.4をサポートします。

² iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを購入する必要があります。互換性の問題を回避するために、Appleの正規アクセサリを使用してください。

³ 付属のUSB-Cケーブルを使用して、USB-Cデバイスがビデオ伝送および充電をサポートできることを確認してください。

リモコン

ボタン		詳細
1	電源	Bluetoothスピーカーモードをオン/光源をオフ/プロジェクターを再起動します。
2	フォーカス	手動で調整する場合、リモコンで Focus (フォーカス) ボタンを押し、 左 および 右 の矢印ボタンを使用します。
3	設定	Settings (設定) メニューを表示します。
4	OK/上/下/左/右	選択を確定します。 目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。
5	戻る	前の画面に戻ります
6	ホーム	ホーム 画面にアクセスします。
7	上げる	ボリュームを上げます。
8	再生/一時停止	コンテンツを再生/一時停止します。 注記: 内蔵のメディアプレーヤーのみに対応します。
9	下げる	ボリュームを下げます。
10	ミュート	ミュート/ミュート解除します。



注記: NOMVDICリモコンアプリを使用してX300を操作することもできます。詳細は、30ページを参照してください。

リモコン - 有効範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、8 m (26フィート) を超えないようにしてください。

リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。
3. 表示されているように電池の極性を確認してください。
4. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。

注記:

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。
- 電池の使用、保管、輸送中は極端な高温または低温に晒したり、および気圧が下がる高地での使用は避けてください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

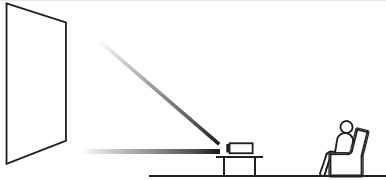
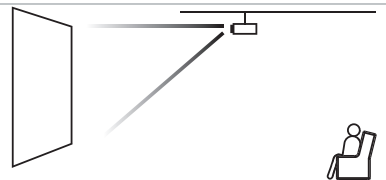
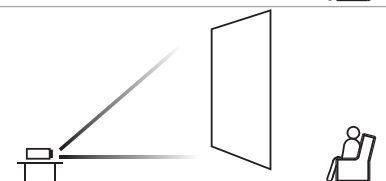
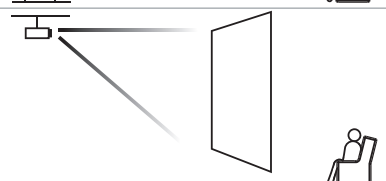
セットアップ

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

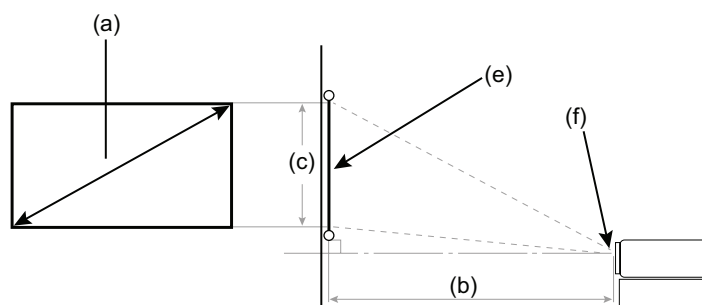
場所	
Front Table (前面机上) プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。	
Front Ceiling (前面天井) プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。	
Rear Table (背面机上)¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。	
Rear Ceiling (背面天井)¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。	

注記: Mirror (ミラー) を90度開いて、天井へ投影できます。その場合は **Front Ceiling (前面天井)** または **Rear Table (背面机上)** を選択してください。

¹ 背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法

- 16:9スクリーン上の16:9画像



注記: (e) = スクリーン/(f) = レンズ中心

16:9スクリーン上の16:9画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離		(c) 画像の高さ		画像の幅	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
40	1016	38.78	984.97	19.61	498.11	0.05	1.27
50	1270	49.39	1254.46	24.51	622.63	0.05	1.27
60	1524	60	1523.95	29.42	747.16	0.05	1.27
70	1778	70.61	1793.44	34.32	871.68	0.05	1.27
80	2032	81.22	2062.93	39.22	996.21	0.05	1.27
90	2286	91.83	2332.42	44.12	1120.74	0.05	1.27
100	2540	102.44	2601.91	49.03	1245.26	0.05	1.27
110	2794	113.05	2871.41	53.93	1369.79	0.05	1.27

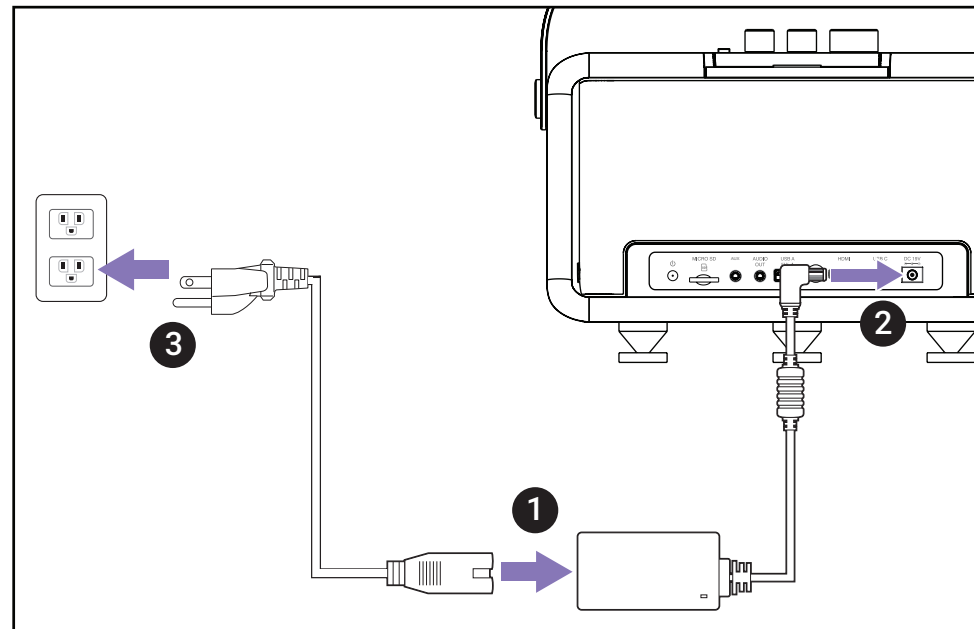
注記: 光学部品のばらつきにより、これらの数値には3%の許容誤差があります。プロジェクターを恒久的に設置する前に、投影サイズと距離を物理的にテストすることをお勧めします。

本体の接続

電源との接続

DC電源 (電源コンセント)

1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. 電源コードを本体後側のDC入力ジャックに接続します。
3. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。



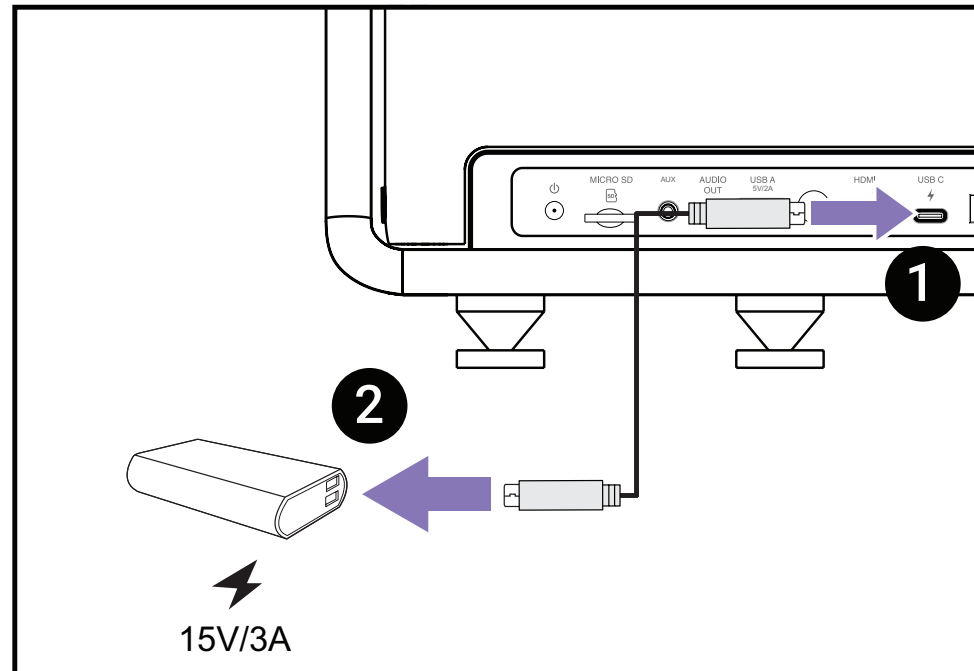
注記: プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意：

- 電池の充電とプロジェクターの電源供給には、付属の電源アダプターのみを使用してください。
- プロジェクターを初めてオンにする場合は、電源アダプターに接続してください。プロジェクターに電源アダプターを接続する場合は、接地済みのコンセントに接続することを強く推奨します。
- コンセントはプロジェクターの付近、簡単に手の届く場所に配置してください。
- プロジェクターの電源を外す場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

USB-C電源バンク

1. USBタイプCケーブルの一端をプロジェクターのUSB-Cポートに接続します。
2. USBタイプCケーブルの他端を電源バンクに接続します。



注記：電源バンクは、少なくとも45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートするようにしてください。

バッテリーの使い方

バッテリーレベルアイコンは、**Home Screen (ホーム画面)** の右上に表示されます。バッテリーの電力レベルが低下すると、画面に「バッテリー低下メッセージ」が表示されます。

バッテリー使用時間情報

充電		約3.5時間
使用時間	最大3時間 (電池節約) / 最大2.5時間 (エコ) / 最大2時間 (フル) 注記: 音楽の再生のみであれば、通常6時間使用できます。	
バッテリーレベルインジケーター (充電)	充電中: 白色LEDライトの点滅 フル充電: 白色LEDライトの点灯	

注意:

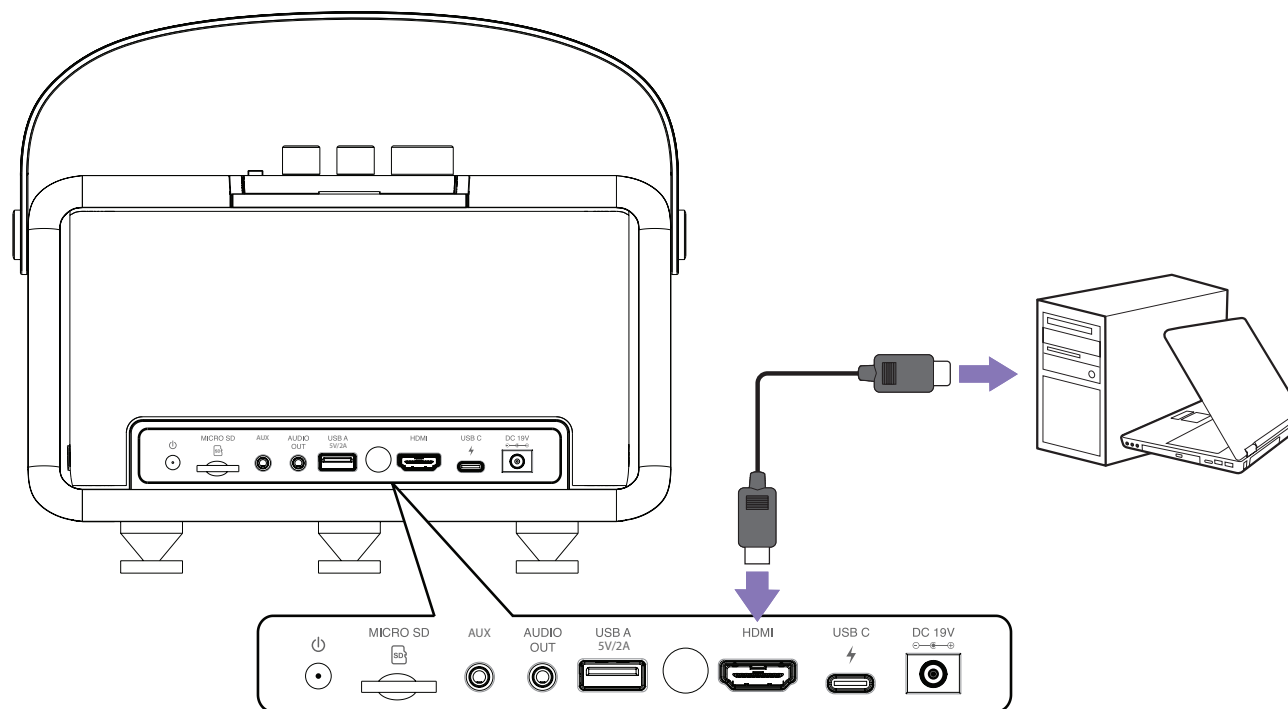
プロジェクターの電池に関して、以下の注意事項をご覧ください。

- このデバイスに使用される電池は、取り外したり分解すると火災や化学薬品による火傷のおそれがあります。
- 安全を期するために、警告標記に従ってください。
- 電池を間違ったタイプのものに交換すると、爆発の危険があります。
- 火中に投じて廃棄しないでください。
- プロジェクターの電池は絶対に短絡させないでください。
- 電池は絶対に分解や再組立てを試みないでください。
- 液漏れが見つかった場合は使用を中止してください。
- 電池とその部品は適切にリサイクルまたは廃棄する必要があります。
- 電池やその他の小さな部品はお子様の手が届かないようにしてください。

外付け機器への接続

HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**HDMI**ポート (HDMI 1.4、HDCP 1.4をサポート) に接続します。

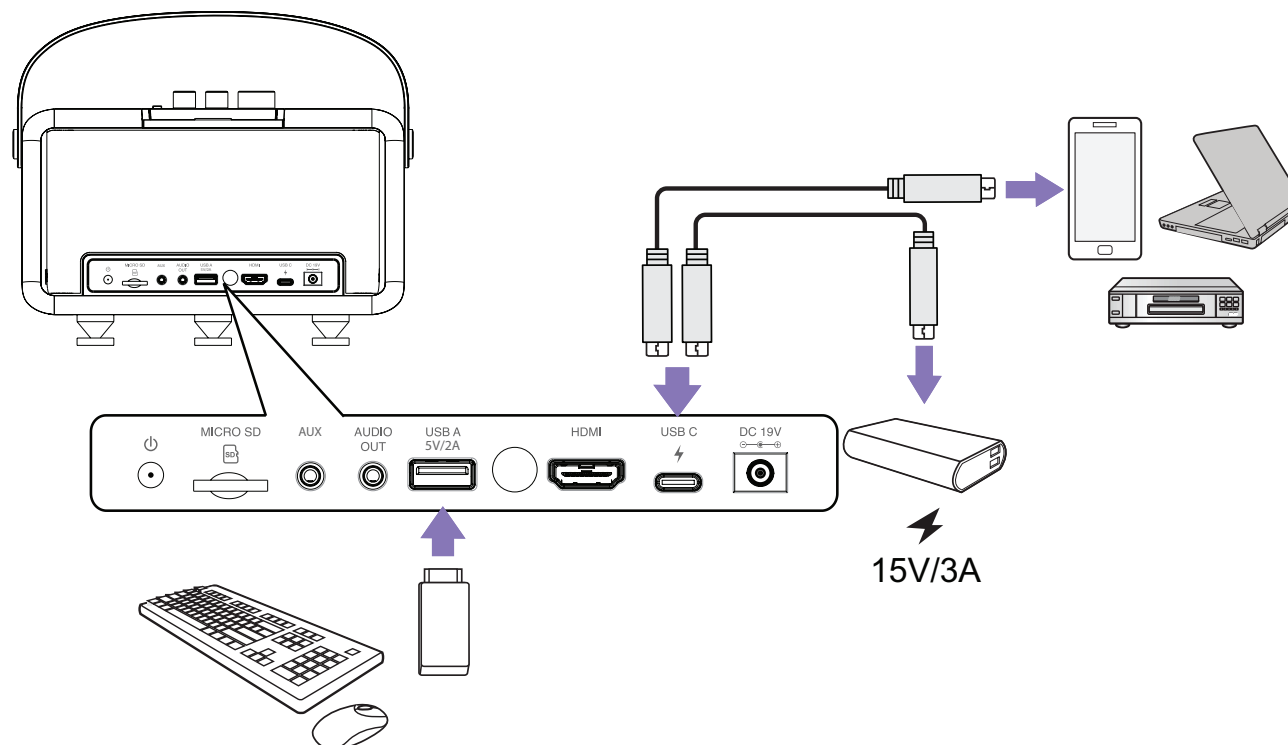


注記: iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを使用する必要があります。

USB接続

USB-C接続

USBタイプCケーブルの一端を機器のUSB-Cポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクタの**USB-C**ポートに接続します。



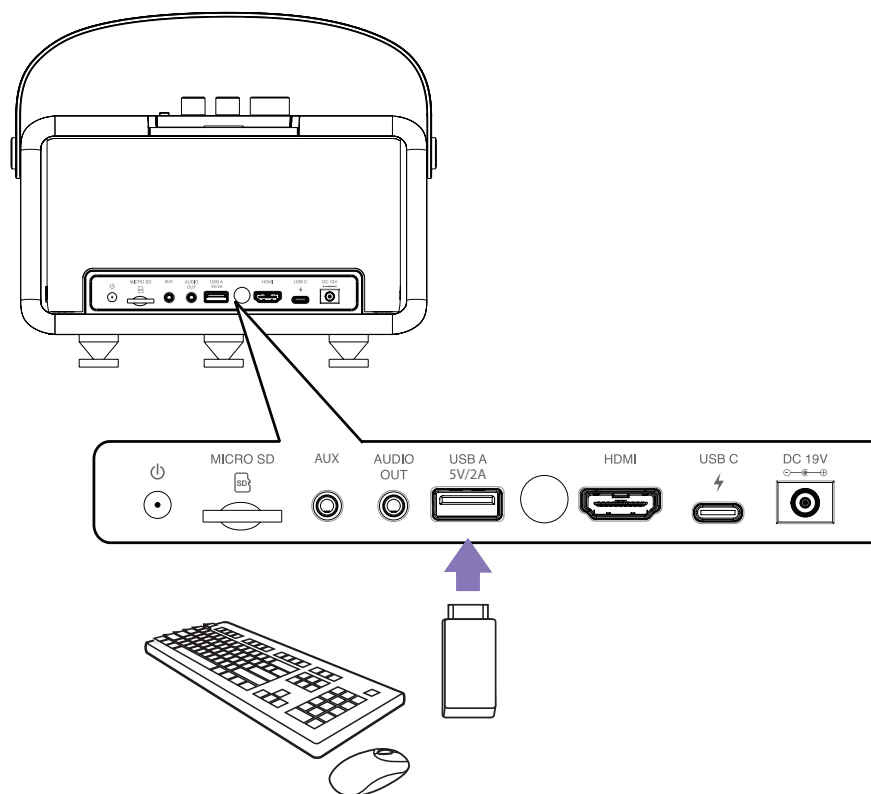
注記:

- USBタイプC機器がビデオ転送をサポートできることを確認してください。
- また、X300はUSB-C接続されたパワーバンクを使って、システムをオンにすることができます。しかし、**Light Source Level (光源レベル)**は **Eco (エコ)**と **Battery Saving (電池節約)**に限定されます。システムの電源をオンにすると、残りの電力がX300の内蔵電池を充電します。

USBタイプA接続

USBタイプAケーブルの一端をデバイスのUSB-Aポートに接続します (該当する場合)、ケーブルの他端をプロジェクタの**USB-A**ポートに接続します。

さらに、キーボード、マウス、dongle、ストレージデバイスなどをプロジェクターの**USB-A**ポートに接続できます。

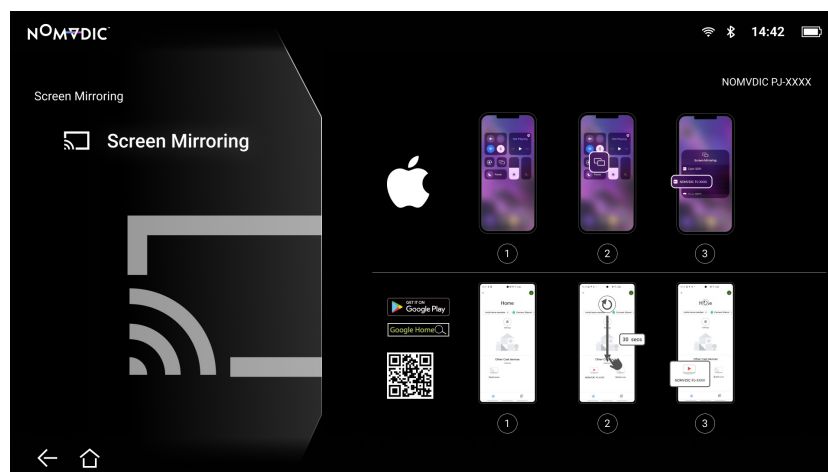


ワイヤレス画面ミラーリング

画面ミラーリングは、ユーザーが自分の個人用デバイスの画面をミラーリングするための5GHz Wi-Fi接続を提供します。

注記：

- デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。
- 最高の性能を得るために、5GHz Wi-Fiネットワークを使用することを推奨します。



iOSの場合：

1. ドロップダウンコントロールメニューにアクセスします。
2. 「Screen Mirroring (画面ミラーリング)」アイコンを選択します。
3. 「NOMVDIC XXXX」を選択します。

Androidの場合：

1. 「Google Home」アプリケーションをダウンロードし、インストールして、それを開きます。
2. アプリをプルして更新し、30秒待ちます。
3. 「NOMVDIC XXXX」が表示されるので、選択します。

注記：一部のAndroidデバイスは、ダイレクト「キャスト」をサポートします。お使いのデバイスがキャストをサポートしている場合は、Casting (キャスト) 機能に移動し、利用可能なデバイスのリストから「NOMVDIC」を選択してください。「Google Home」アプリケーションをお持ちでない場合は、QRコードをスキャンして指示に従い、Androidデバイスを直接キャストできます。

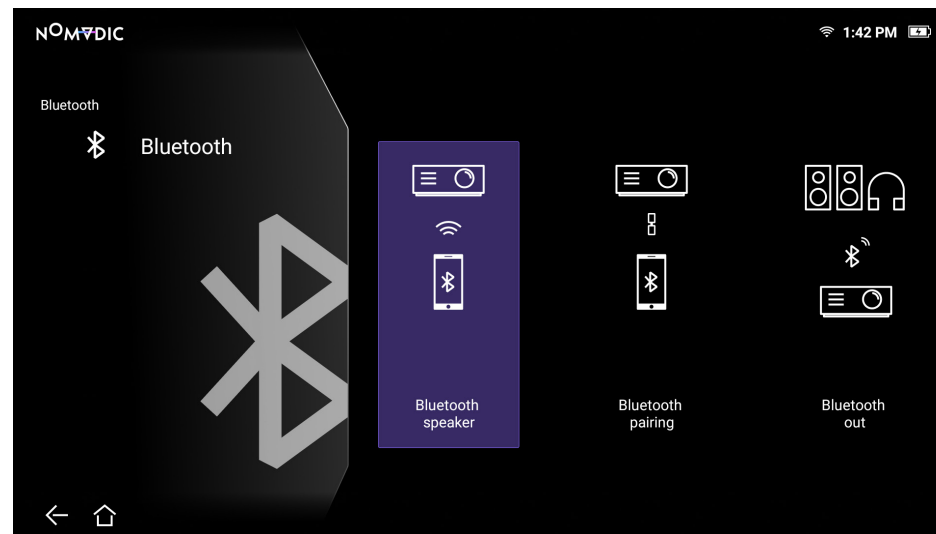
音声に接続する

Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)

プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。

デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Bluetooth**。
2. リモコンの**左**および**右**方向ボタンを使って、**Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)**または**Bluetooth Pairing (Bluetoothペアリング)**を選択します。次に、リモコンの**OK**を押します。



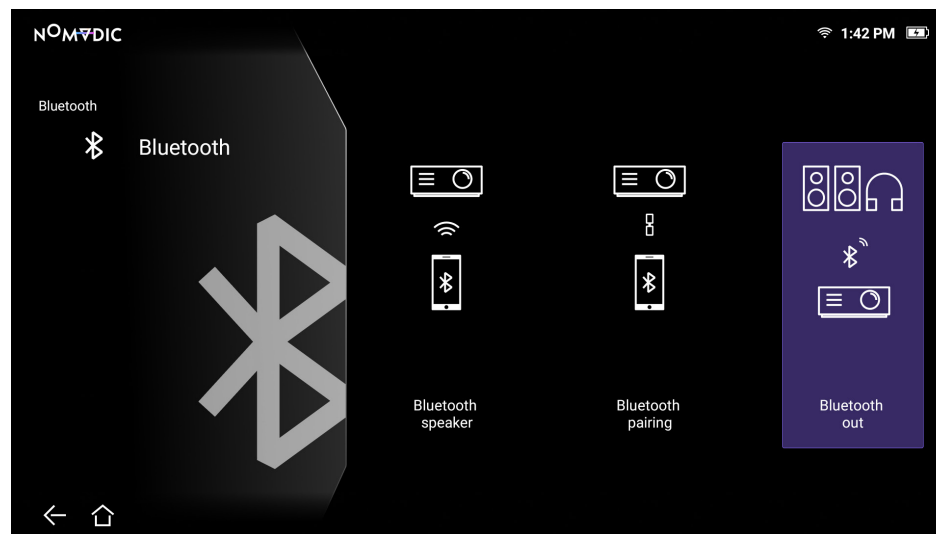
3. ペアリングモードに入ると、効果音が聞こえます。
4. 接続に成功すると、別の効果音が聞こえます。

注記：

- ペアリングすると、プロジェクターとデバイスの両方の電源が入っている場合、Bluetooth経由で自動的に接続されます。
- プロジェクターは「NOMVDIC X300」と名付けられます。
- X300をペアリング済みのスマートデバイスへ接続する場合は、毎回スマートデバイスのBluetooth設定から「X300」を選択してください。

Bluetooth Out (Bluetooth出力)

Bluetoothをサポートする外部ヘッドフォンまたはスピーカーにプロジェクターを接続します。



デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Bluetooth**。
2. リモコンの**左**および**右**方向ボタンを使って、**Bluetooth Out (Bluetooth出力)** オプションを選択します。次に、リモコンの**OK**を押します。
3. プロジェクターは、近くのBluetoothデバイスを検索します。リストからデバイスを選択し、リモコンの**OK**を押します。

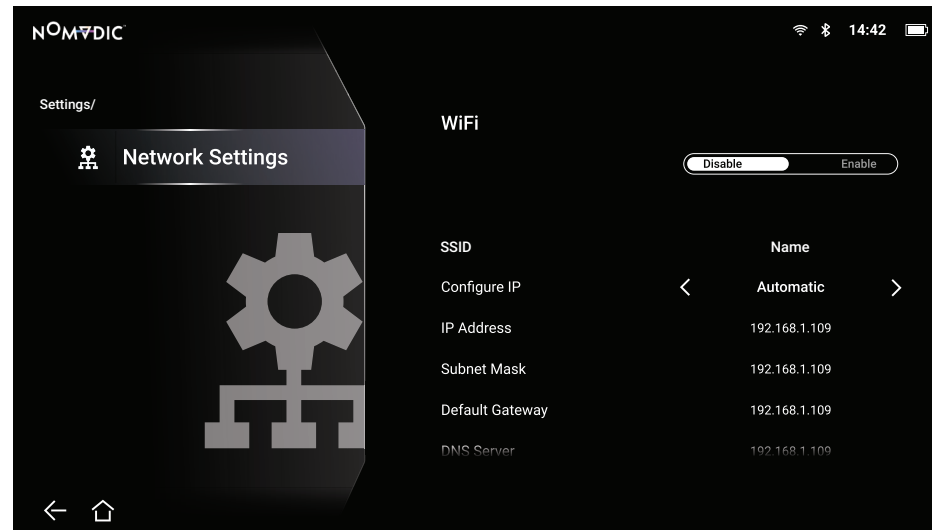
注記： **Bluetooth Out (Bluetooth出力)** は、**Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)** または **Bluetooth Pairing (Bluetoothペアリング)** と同時に作動できません。

ネットワークに接続する

Wi-Fi Connection (Wi-Fi接続)

Wi-Fiネットワークに接続するには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Network Settings (ネットワーク設定) > Wi-Fi**。
2. リモコンの**左**または**右**を押して、**Enable (有効)** を選択します。



3. 利用可能なWi-Fiネットワークが表示されます。利用できるWi-Fiネットワークのいずれかを選び、リモコンで**OK**を押してください。
4. 安全なWi-Fiネットワークに接続している場合は、メッセージが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

Custom SSID (カスタムSSID)

Wi-Fiネットワークに接続するには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Network Settings (ネットワーク設定) > Wi-Fi**。
2. リモコンの**左**または**右**を押して、**Enable (有効)** を選択します。
3. 利用可能なWi-Fiネットワークリストから、**Others (その他)** を選択し、リモコンの**OK**を押します。
4. SSIDを入力して、セキュリティレベルを選択します。
5. プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

注記： **Configure IP (IPの設定)** に**Automatic (自動)** を選択して、システムにネットワーク設定を自動的に設定させることをお勧めします。

NOMVDIC リモコンアプリ

X300に付属するリモコン以外にも、スマートフォンへNOMVDICリモコンアプリをダウンロードしてX300を操作できます。

iOSの場合：

1. App Storeへ進みます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを検索し、選択してダウンロードします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンとX300を同じWi-Fiネットワークへ接続します。

Androidの場合：

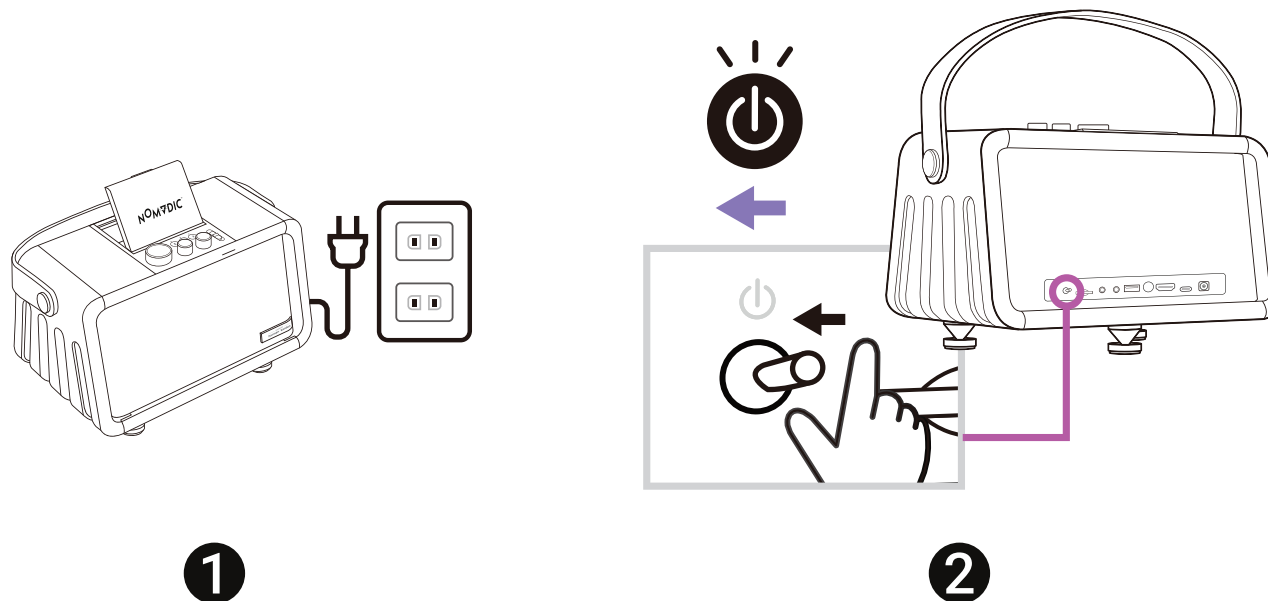
1. Google Playストアへ進みます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを検索し、選択してダウンロードします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンとX300を同じWi-Fiネットワークへ接続します。

プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する

1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認し、レンズカバーを開いてください。
2. DC電源アダプターを接続した後、**電源のオン/オフ**をオンの位置に切り替えます。

注記：ステータスLEDは起動中に緑色に点滅し、その後は緑色に点灯します。

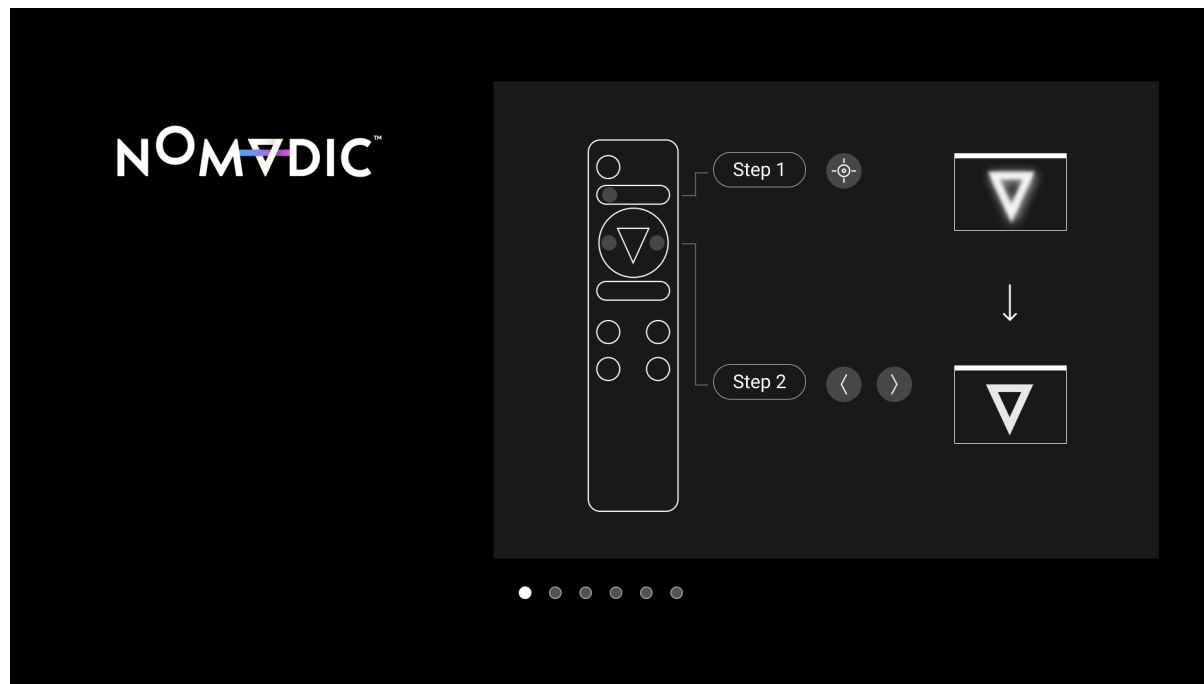


初めて起動する場合

プロジェクターを初めて起動する場合、フォーカスと設定を調整する必要があります。プロジェクターの向き、言語、ネットワーク設定、Bluetoothのペアリングです。リモコンを使用して、画面に表示される指示に従ってください。Finish (完了) 画面が表示されたら、プロジェクターは使用可能な状態です。

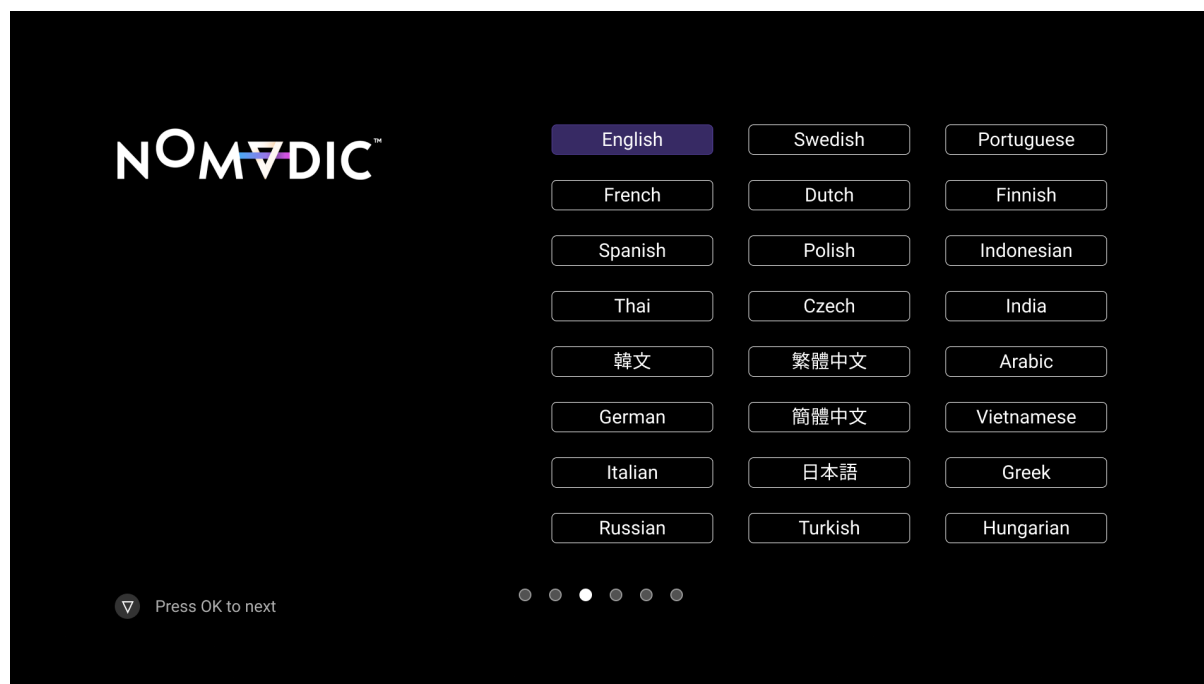
Manual Focus (手動フォーカス)

リモコンまたは **Focus Adjustment Slider (フォーカス調整スライダー)** を使用して、画像を手動で調整します。



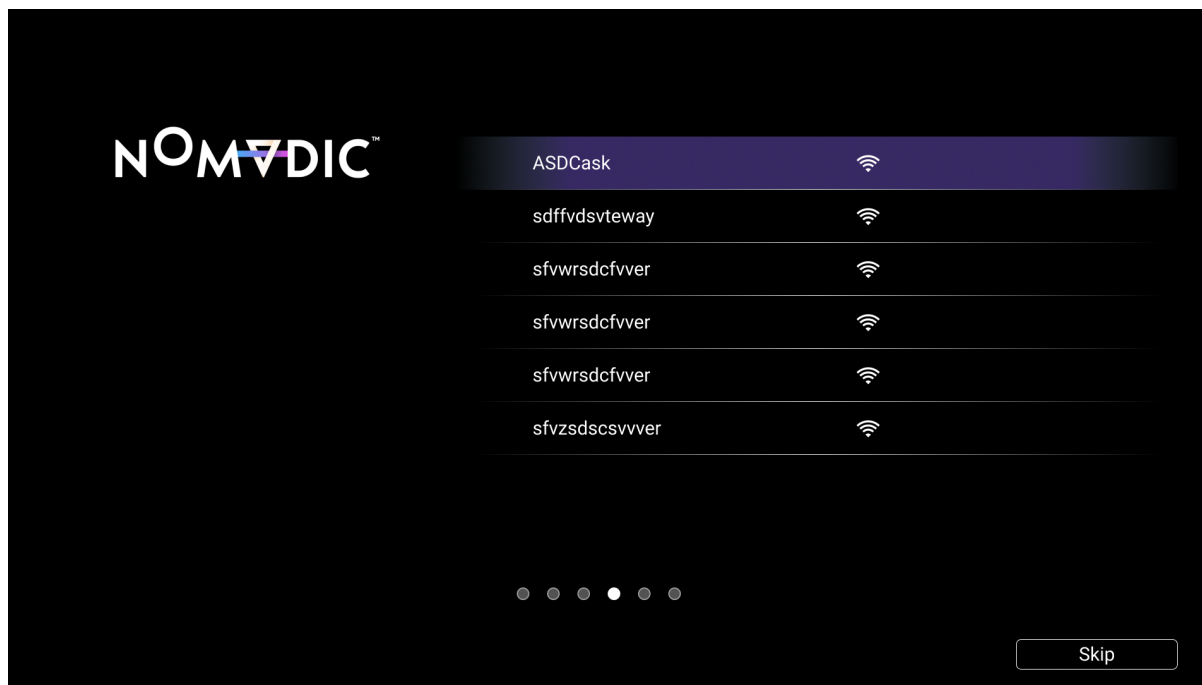
Preferred Language (使用言語)

リモコンで希望の言語を選択し、**OK**を押して選択を確定します。



Network Settings (ネットワーク設定)

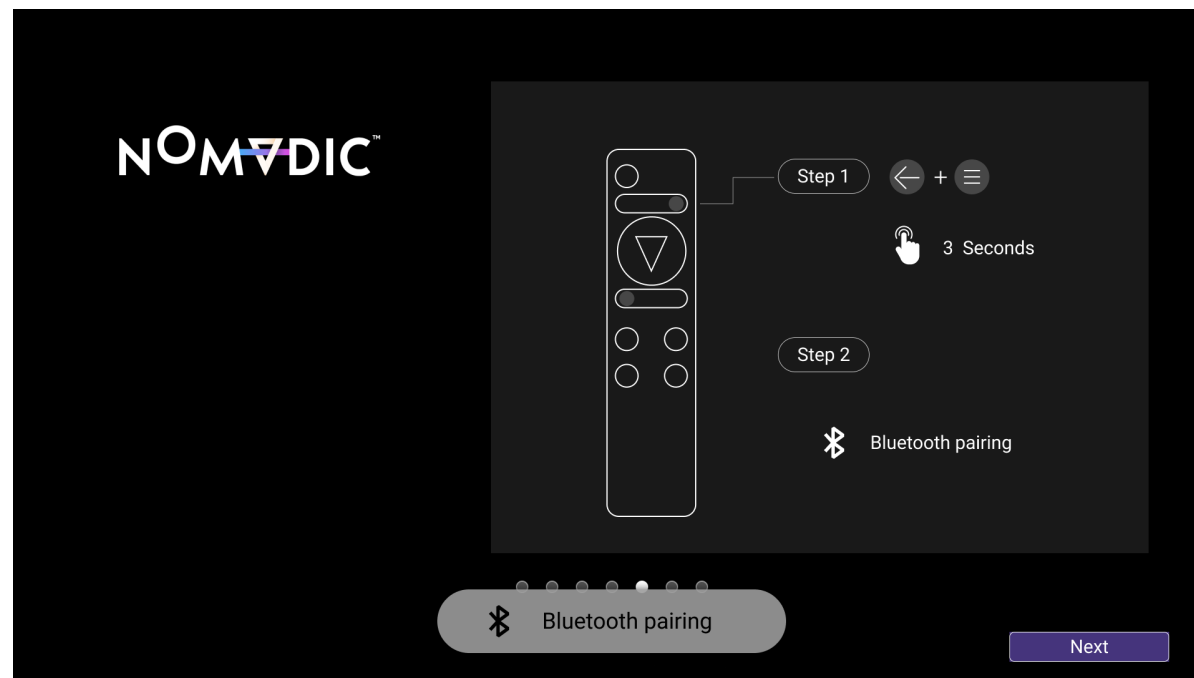
利用可能なWi-Fiオプションの1つを選択してください。詳細については、28ページを参照してください。



注記: NOMVDICリモコンアプリを使用してX300を操作することもできます。詳細は30ページを参照してください。

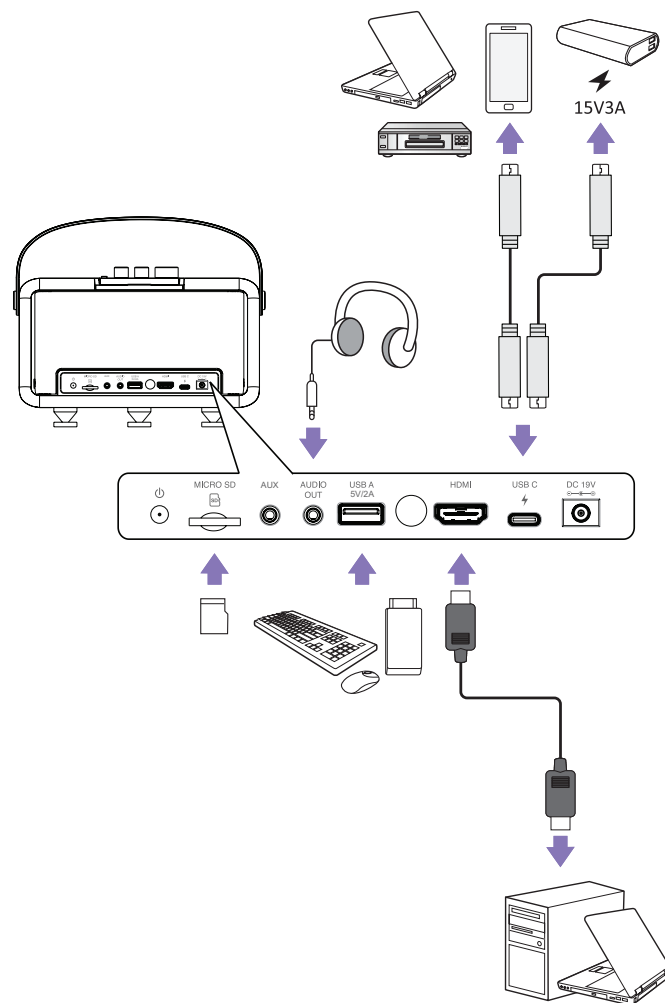
Bluetooth Pairing (Bluetoothペアリング)

Bluetoothをペアリングします。詳細については、26ページを参照してください。



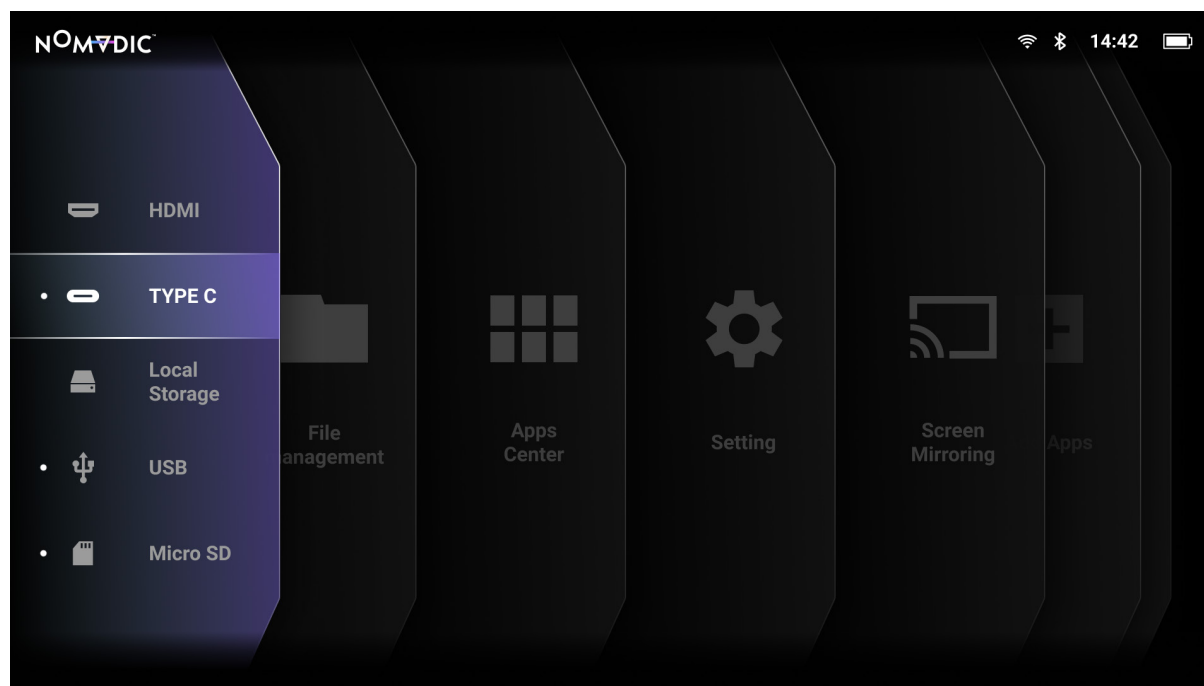
入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1ソースしか表示できません。



プロジェクターは、自動的に入力ソースを検索します。複数の入力信号が接続されている場合、ソースの入力タブが表示されるまでリモコンで**左**ボタンを押し、続いて入力ソースを選択します。

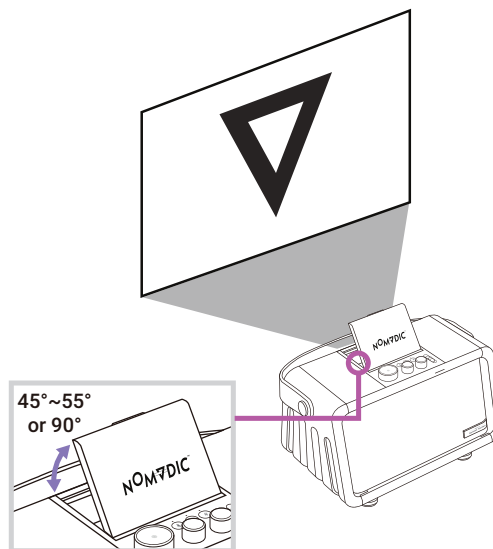
注記： 接続されたソースもオンであることを確認してください。



投影画像を調整する

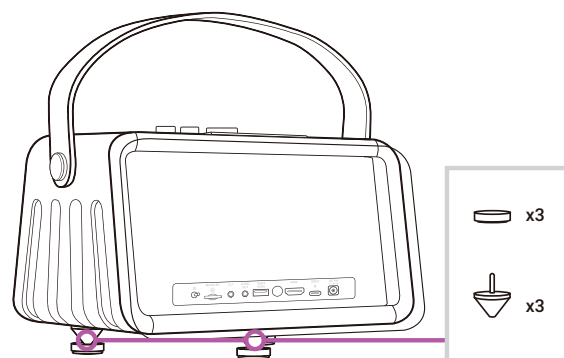
プロジェクターの高さと投影角度を調整する

使用環境に合うようにレンズカバーの角度を調整します。通常、 45° ~ 55° と 90° で最適な結果が得られます。



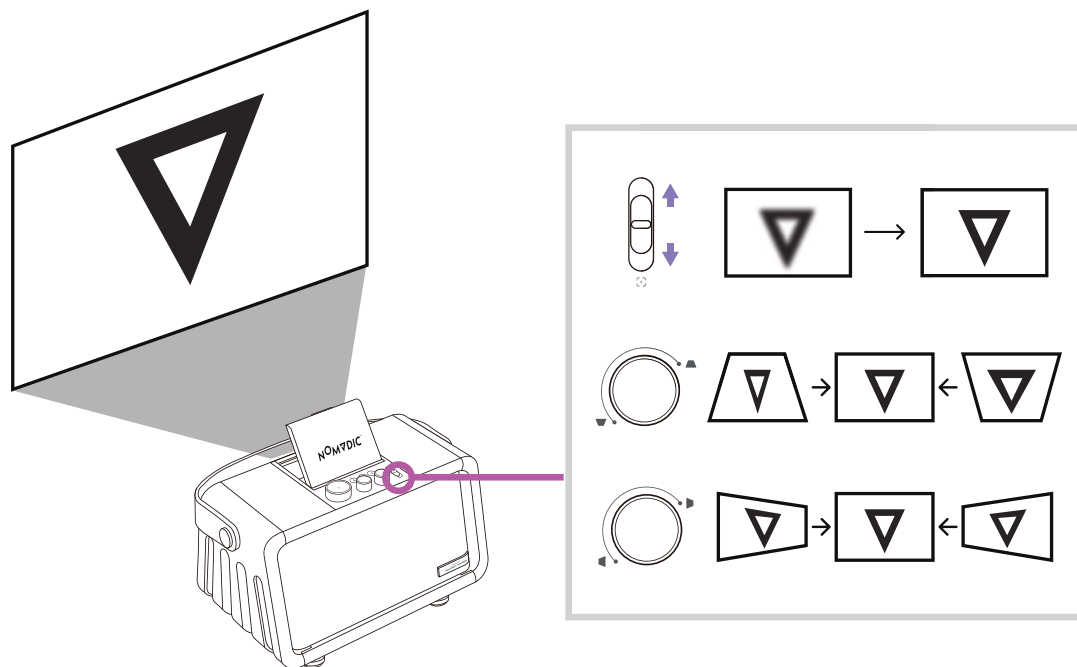
プロジェクターの脚を交換して、プロジェクターの高さへ調整できます。

注記: 円錐形の脚は不要な振動を抑え、スピーカーがより高い音質の明瞭なサウンドを出力できるようにします。X300を持ち歩かず、屋内に設置する場合に円錐形の脚を使用することが推奨されます。円錐形の脚はスピーカーを設置する箇所に傷をつけないようにします。



画像鮮明度を微調整する

プロジェクターが平らな面に置かれていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合は、投影画像が台形になることがあります。しかし、「キーストーン調整」機能で問題を修正できます。



Focus (フォーカス) ボタンを押してから、リモコンの**左**および**右**ボタンを使用して、画像の鮮明度を改善することができます。それ以外にも、**Focus Adjustment Slider (フォーカス調整スライダー)** を使用して画像を鮮明にすることもできます。

プロジェクターをシャットダウンする

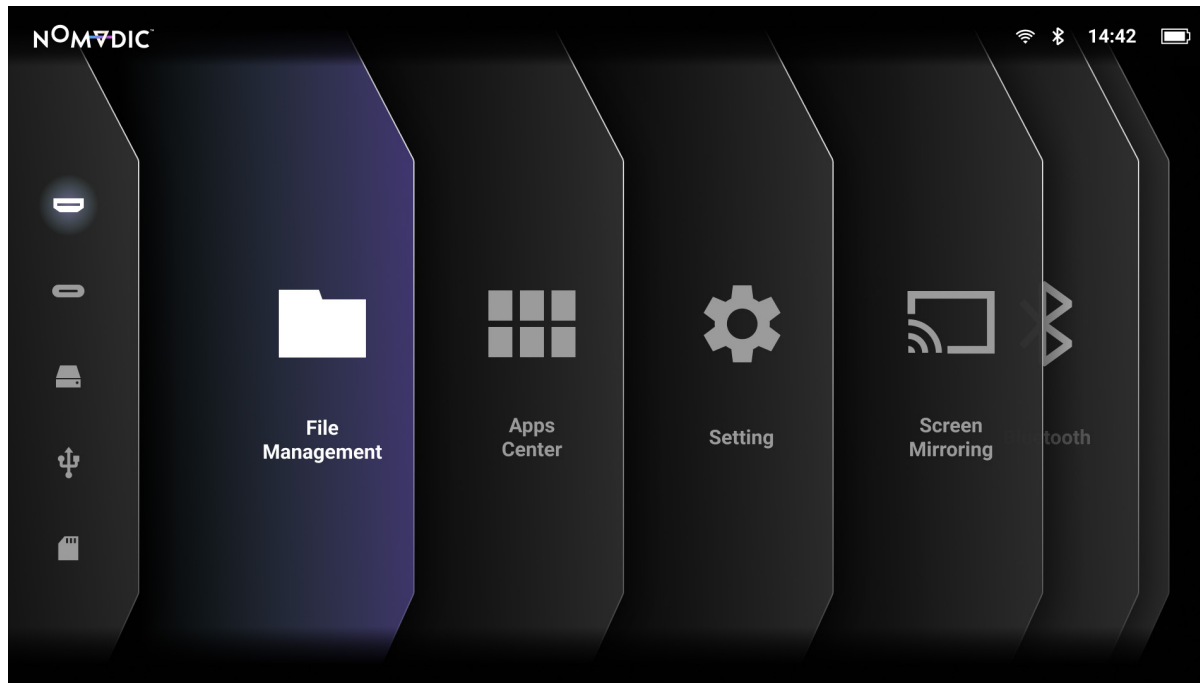
Power Toggle (電源ボタン) をオフにしてプロジェクターの電源をオフにします。

注記： リモコンの**電源ボタン**を押すと、3つのオプション：**Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)**、**Turn Light Source Off (光源をオフ)**、**Restart (再起動)**を選択できます。

プロジェクターを操作する

Home Screen (ホーム画面)

プロジェクターを起動するたびに、**Home Screen (ホーム画面)** が表示されます。**Home Screen (ホーム画面)** に移動するために、リモコンの方向ボタンを使用します。どのページが表示されている場合でも、リモコンの**ホーム**ボタンを押すと、いつでもメインの **Home Screen (ホーム画面)** に戻ることができます。



メニュー	詳細
File Management (ファイル管理)	ファイルおよびフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスを提供します。
Apps Center	インストールしたすべてのアプリケーションにアクセスし、表示します。
Setting (設定)	Network settings (ネットワーク設定)、Basic and Advanced settings (基本および詳細設定)、Date & Time (日時)、Firmware update (ファームウェア更新)、System Information (システム情報)、Network settings (ネットワーク設定)、Date & Time (日時)、Basic and Advanced settings (基本設定 および 詳細設定)、Firmware update (ファームウェアの更新)、System Information (システム情報)。
Screen Mirroring (画面ミラーリング)	プロジェクターを通して、個人用デバイスの画面をミラーリングします。
Bluetooth	適切なBluetoothモードを選択します。
Add App (アプリを追加)	お気に入りのアプリを選択し、それらを Home Screen (ホーム画面) ¹ に追加します。

¹最大4つのアプリをホーム画面に追加できます。

ホーム画面 - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー		メニューオプション	
File Management (ファイル管理)				
Apps Center				
Setting (設定)	Network Settings (ネットワーク設定)	Wi-Fi	Enable (オン)/ Disable (オフ)	
			SSID	
			Configure IP (IPを構成)	
			IP Address (IPアドレス)	
			Subnet Mask (サブネットマスク)	
			Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	
			DNS Server (DNSサーバー)	
	Date & Time (日時)	Automatic Date & Time (自動日時)	Disable (オフ) Enable (オン)	
		Date (日付)		
		Time (時刻)		
		Time Zone (タイムゾーン)		
		Time Format (時刻形式)	12 hours (12時間)	
			24 hours (24時間)	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setting (設定)	Basic Settings (基本設定)	Language (言語選択)	English	
			French	
			German	
			Italian	
			Spanish	
			Russian	
			繁體中文	
			簡體中文	
			日本語	
			韓語	
			Swedish	
			Dutch	
			Turkish	
			Czech	
			Portuguese	
			Thai	
			Polish	
			Finnish	
			Arabic	
			Indonesian	
			Hindi	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setting (設定)	Basic Settings (基本設定)	Language (言語選択)	Vietnam	
			Greek	
		Projector Projection (プロジェクタ投影)	Front Table (前面机上)	
			Front Ceiling (前面天井)	
			Rear Table (背面机上)	
			Rear Ceiling (背面天井)	
		Keystone (キーストーン)	V Keystone (垂直キーストーン)	(-/+、-40~40)
			H Keystone (水平キーストーン)	(-/+、-40~40)
			4 Corner (4コーナー)	Disable (オフ)
				Enable (オン)
			4 Corner Adjustment (4コーナー調整)	
		Zoom (ズーム)	0.8x~1.0x	
		Focus (フォーカス)	Manual Focus (手動フォーカス)	
	Advanced Settings (詳細設定)	Power On Source (電源オンソース)	Disable (オフ)	
			HDMI	
			USB C	
		Power On/Off Ring Tone (電源オン/オフの呼び出し音)	Disable (オフ)	
			Enable (オン)	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Setting (設定)	Advanced Settings (詳細設定)	Smart Energy (スマートエネルギー)	Auto Power Off (自動電源オフ)	Disable (オフ)	
				10 minutes (10 分)	
				20 minutes (20 分)	
				30 minutes (30 分)	
			Sleep Timer (スリープタイマー)	Disable (オフ)	
				30 minutes (30 分)	
				1 hour (1 時間)	
				2 hours (2時間)	
				3 hours (3時間)	
				4 hours (4時間)	
				8 hours (8時間)	
				12 hours (12時間)	
		Power Saving (省エネ)	Disable (オフ)		
			Enable (オン)		
		Harman Kardon (ハーマン・カードン)	Audio Mode (オーディオモード)	Movie (映画)	
				Music (音楽)	
				User (ユーザー)	100Hz
					500Hz
	1500Hz				
	5000Hz				
		10000Hz			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setting (設定)	Advanced Settings (詳細設定)	harman/kardon (ハーマン/カardon)	Audio Volume (音量)	(-/+、0～50)
			Mute (ミュート)	Disable (オフ)
				Enable (オン)
		Light Source Level (光源レベル)	Full (フル)	
			Eco (エコ)	
			Battery Saving (電池節約)	
		High Altitude Mode (高地モード)	Disable (オフ)	
			Enable (オン)	
		Reset Settings (設定をリセット)	Reset (リセット)	
			Cancel (キャンセル)	
		Reset to Factory Default (工場出荷時デフォルトに リセット)	Reset (リセット)	
			Cancel (キャンセル)	
	Firmware Upgrade (ファームウェアアップグ レード)	Software Upgrade (ソフトウェアアップグ レード)	Software Update Online (オンラインでのソフトウェア 更新)	
			Software Update by USB (USBによるソフトウェア 更新)	
			OTA Reminder (OTAリマインダ)	Enable (オン)
		Version (バージョン)	Software Version (ソフトウェアバージョン)	Disable (オフ)

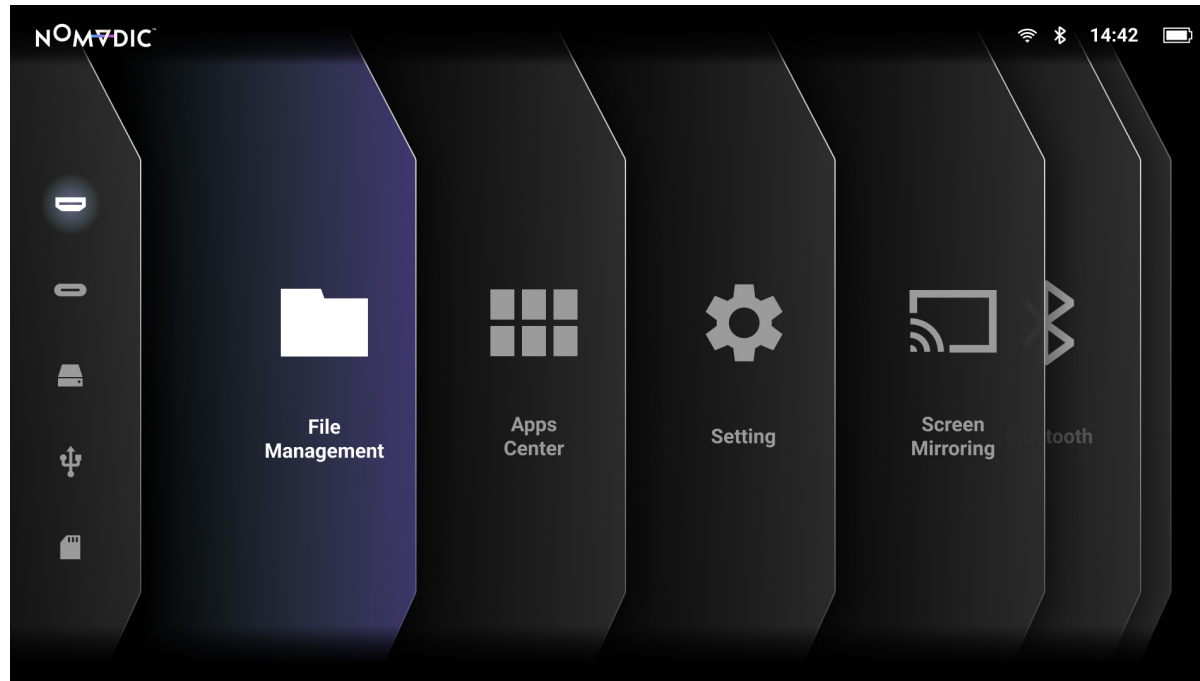
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Setting (設定)	Information (インフォメーション)	Light Source Hours (光源時間)			
		System Version (システムバージョン)			
		Memory Information (メモリ情報)	xx GB (Free)/xx GB (Total) (xx GB (空き)/xx GB (合計))		
		Wi-Fi Mac Address (Wi-Fi MACアドレス)			
		Serial Number (シリアル番号)			
Screen Mirroring (画面ミラーリング)					
Add App (アプリを追加)					

メニュー操作

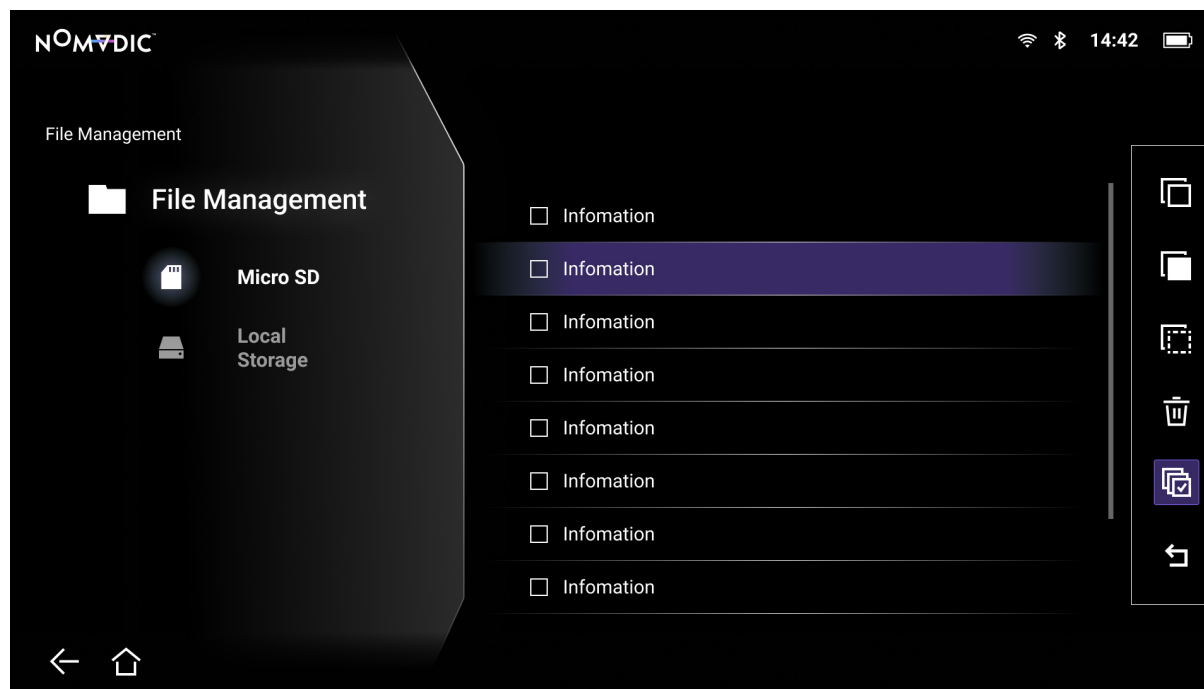
File Management (ファイル管理)

ファイルとフォルダを簡単に管理します。

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > File Management (ファイル管理)**。



2. ソースリストからデバイスを選択します：USB、Local Storage (ローカルストレージ)、MicroSD (マイクロSD) など。方向ボタンを使用して目的のファイルを選択します。次に、リモコンの**OK**を押して、選択したファイルを開きます。

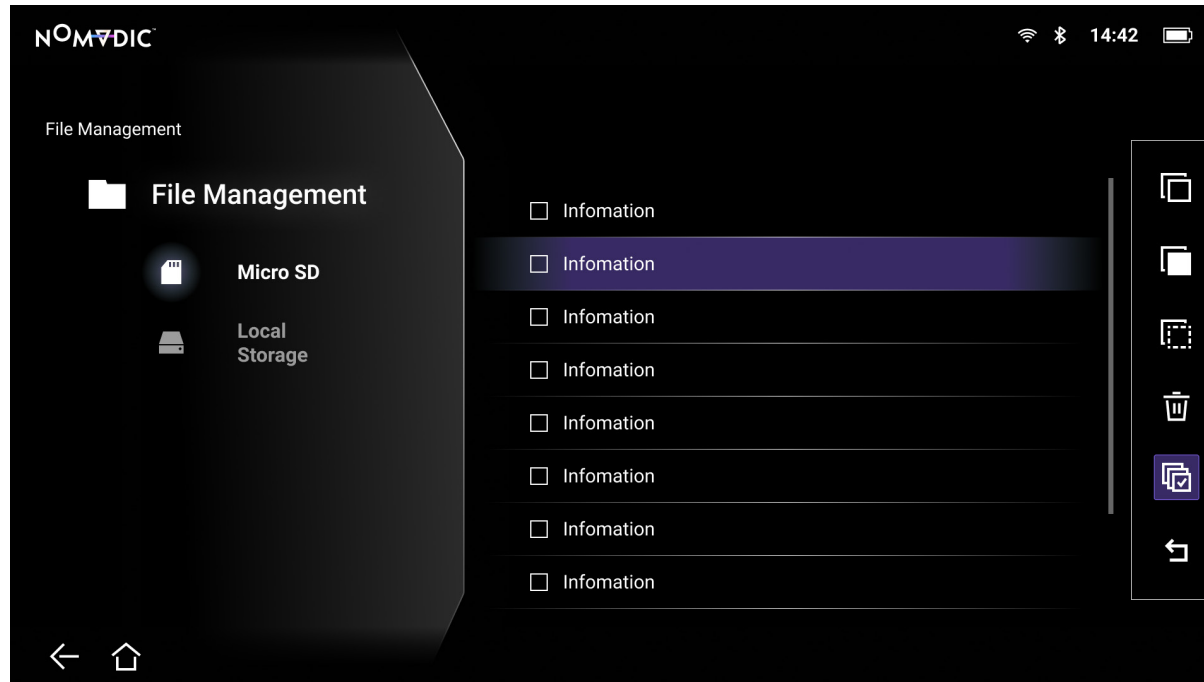


3. **戻る**ボタンを押して、前のレベルに移動します。

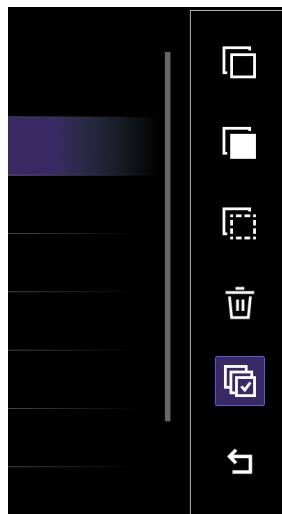
注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム)**に戻ることができます。

ファイルを編集する方法

1. **File Management (ファイル管理)**が表示されている間に、**OK**ボタンを3秒間長押しします。
2. 各ファイルの前にチェックボックスが表示されます。方向ボタンを使って、**OK**を押し、1つ以上のファイルを選択します。



3. **右**ボタンを押すと、Copy (コピー)、Paste (貼り付け)、Cut (切り取り)、Delete (削除)、Select All (すべて選択)、Return (戻る) が使用可能です。



4. 目的の操作を選択し、**OK**を押して、実行します。
5. コピーまたは切り取りを実行している場合は、宛先フォルダを選択して、プロセスを完了させてください。

制御バーボタンを使用する方法

ビデオ、音楽、または写真ファイルが開かれると、制御バーボタンが画面上に表示されます。

音声		ピクチャ		ビデオ	
	前へ		前へ		前へ
	再生		再生		巻戻し
	一時停止		一時停止		再生
	次へ		次へ		一時停止
	シャッフル		回転 (左)		早送り
	すべて繰り返し		回転 (右)		次へ
	一回繰り返し		インフォメーション		シャッフル
	プレイリスト				すべて繰り返し
	インフォメーション				一回繰り返し
					プレイリスト
					インフォメーション

USB使用に関するヒント

読み取りおよび/または保存にUSBを使用する場合は、次の点に注意してください。

1. USBストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB延長ケーブルを使用すると、USBデバイスがUSBを認識しない場合があります。
3. Windows FAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージデバイスのみを使用してください。
4. 大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
5. USBストレージデバイス上のデータが破損または消失する可能性があります。重要なファイルをバックアップしてください。

サポートされるファイル形式

サポートされるOffice形式：

	項目	詳細
文書閲覧機能	doc/docx	doc/docxの文書を開いて読むことができます
	xls/xlsx	xls/xlsxの文書を開いて読むことができます
	ppt/pptx	ppt/pptxの文書を開いて読むことができます
	PDF	pdfの文書を開いて読むことができます
サポートするインターフェイス言語	44のインターフェイス言語をサポート	英語、簡体字中国語、中国語 (TW)、中国語 (HK)、スペイン語 (LA)、フランス語 (EU)、ポルトガル語 (EU)、ポルトガル語 (BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語 (EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。

サポートされるマルチメディア形式：

拡張子	タイプ	コーデック
.xvid .avi	ビデオ	Xvid, H.264
	音声	MP3
.mp4 .m4v .mov	ビデオ	H.264/MPEG-4
	音声	AAC
.mkv	ビデオ	H.264
.ts .trp .tp .mts .m2ts	ビデオ	H.264, MPEG-2
	音声	MP3/AAC
.vob	ビデオ	MPEG-1, MPEG-2
	音声	DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG-1

サポートされるマルチメディア形式：

デバイス	サポートされる容量 (最大容量)	NTFSサポート		FAT32フォーマット		exFAT	
		読み取り	書き込み	読み取り	書き込み	読み取り	書き込み
USBメモリスティック	256 GB	V	N/A	V	V	N/A	N/A
USB HDD	2 TB	V	N/A	V	V	N/A	N/A
microSD	256 GB	V	N/A	V	V	N/A	N/A

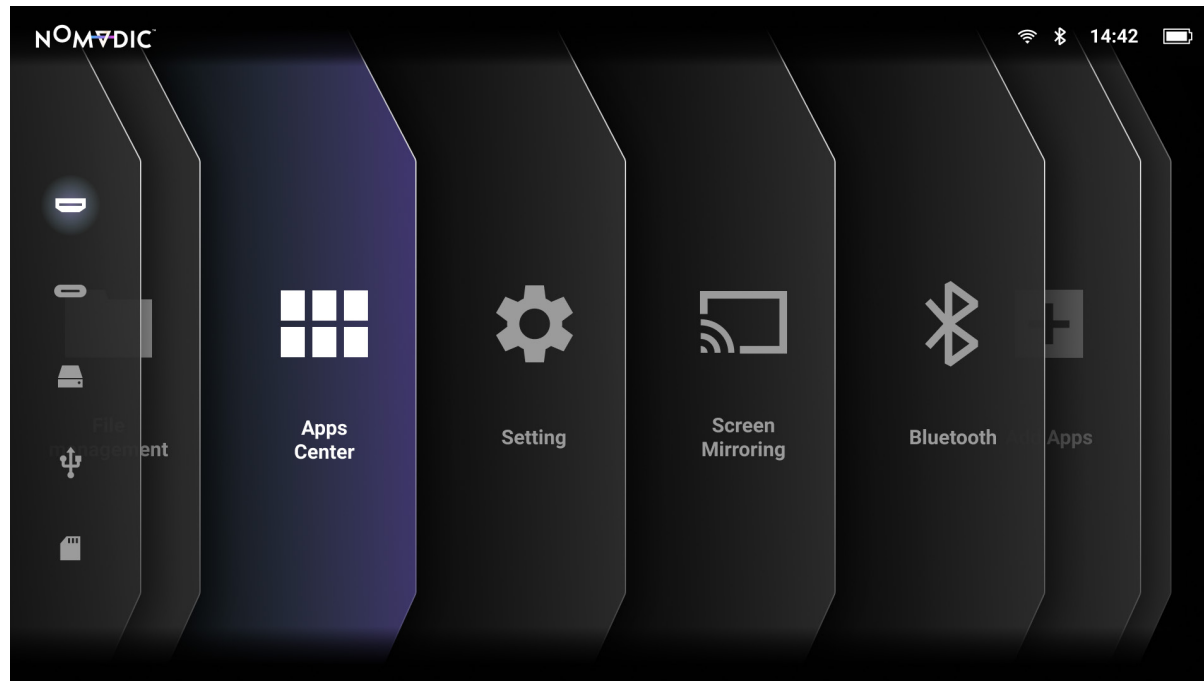
注記：

- Windows 10内蔵のフォーマットツールは、32GBまでのFAT32フォーマットをサポートします。
- ファームウェアアップグレードは、FAT32フォーマットのみをサポートします。

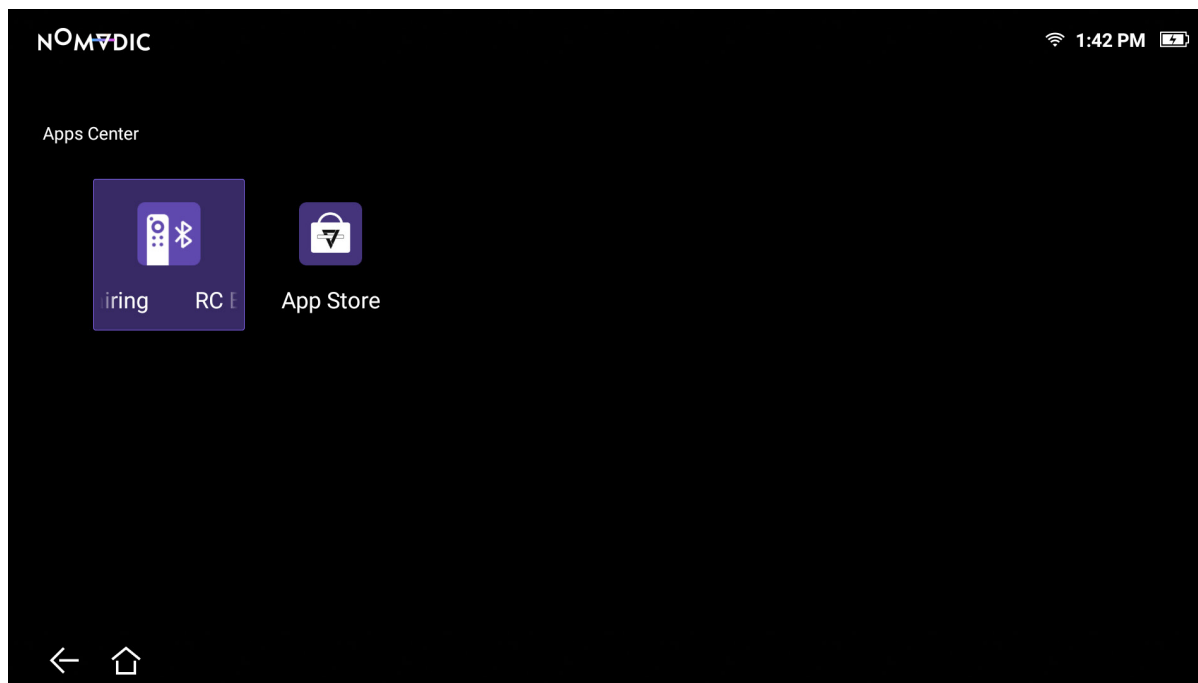
Apps Center

アプリを表示、起動、アンインストールします。

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Apps Center**。



2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。次に、リモコンの**OK**を押して、アプリを起動します。



注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム)**に戻ることができます。

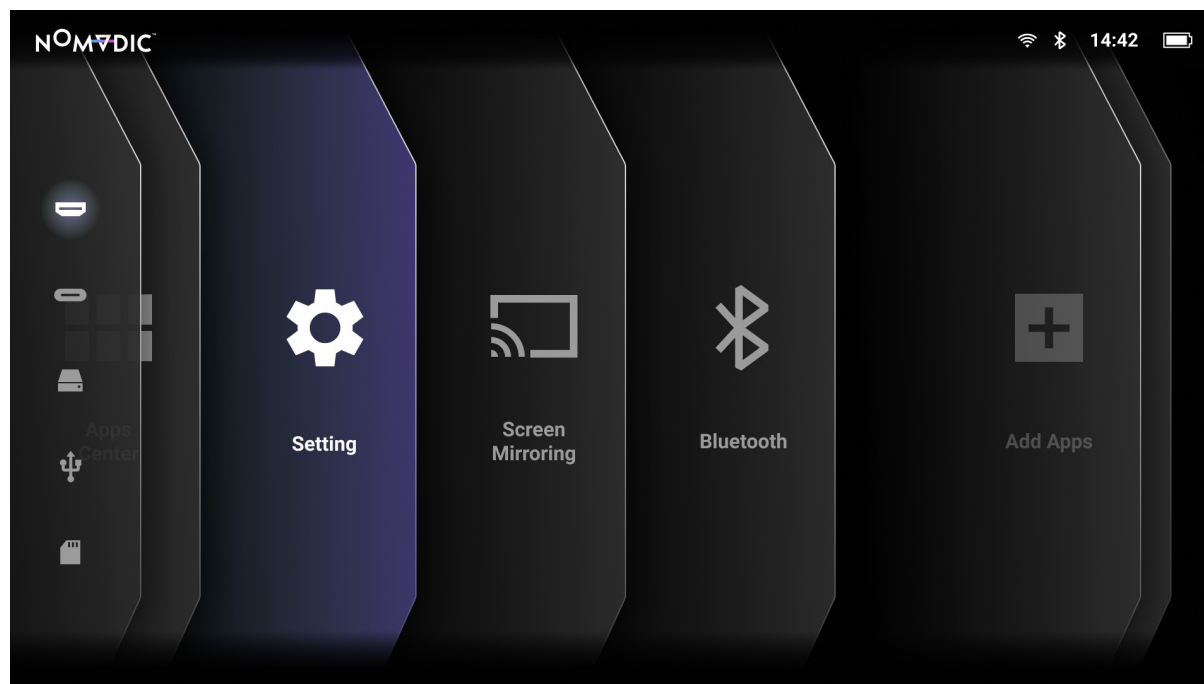
アプリをアンインストールするには

1. 以下を選択して、**Apps Center**を開きます：**Home (ホーム) > Apps Center**。
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。
3. リモコンの**OK**ボタンを3秒間長押しします。
4. **OK**を選択して、アプリをアンインストールします。

注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム)**に戻ることができます。

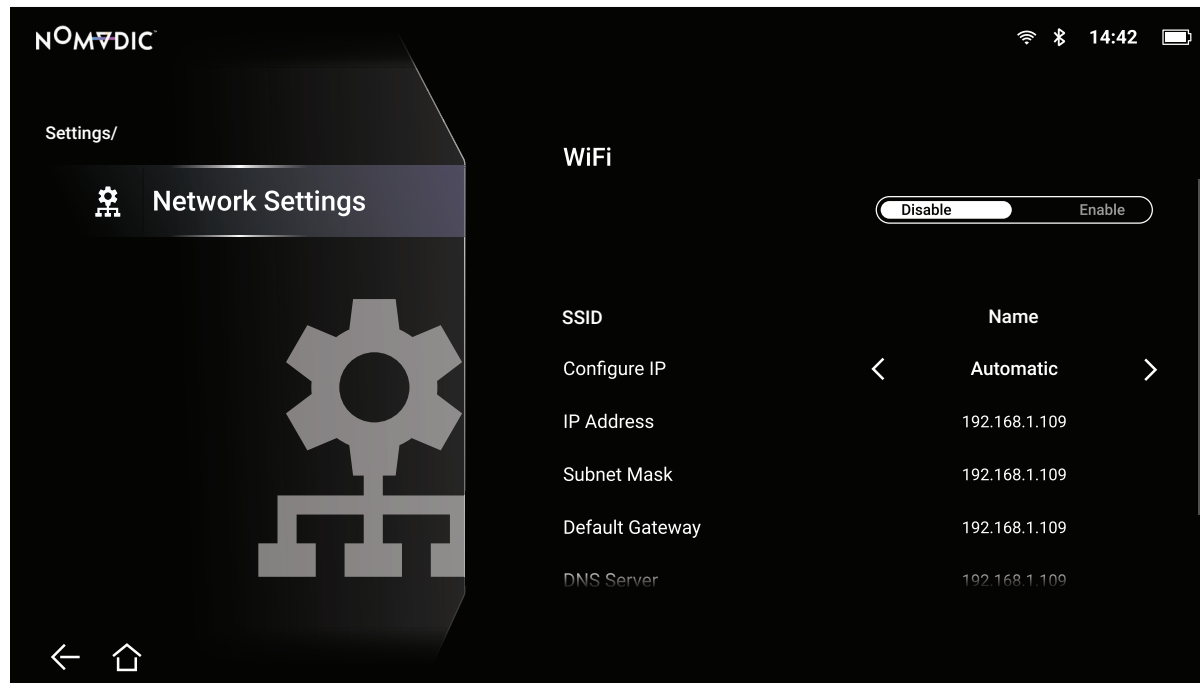
Setting (設定)

Setting (設定) で、Network (ネットワーク)、Date & Time (日時)、Basic Settings (基本設定)、Advanced Settings (詳細設定)、Firmware Update (ファームウェア更新) を調整し、Information (情報) を確認できます。



Network Settings (ネットワーク設定)

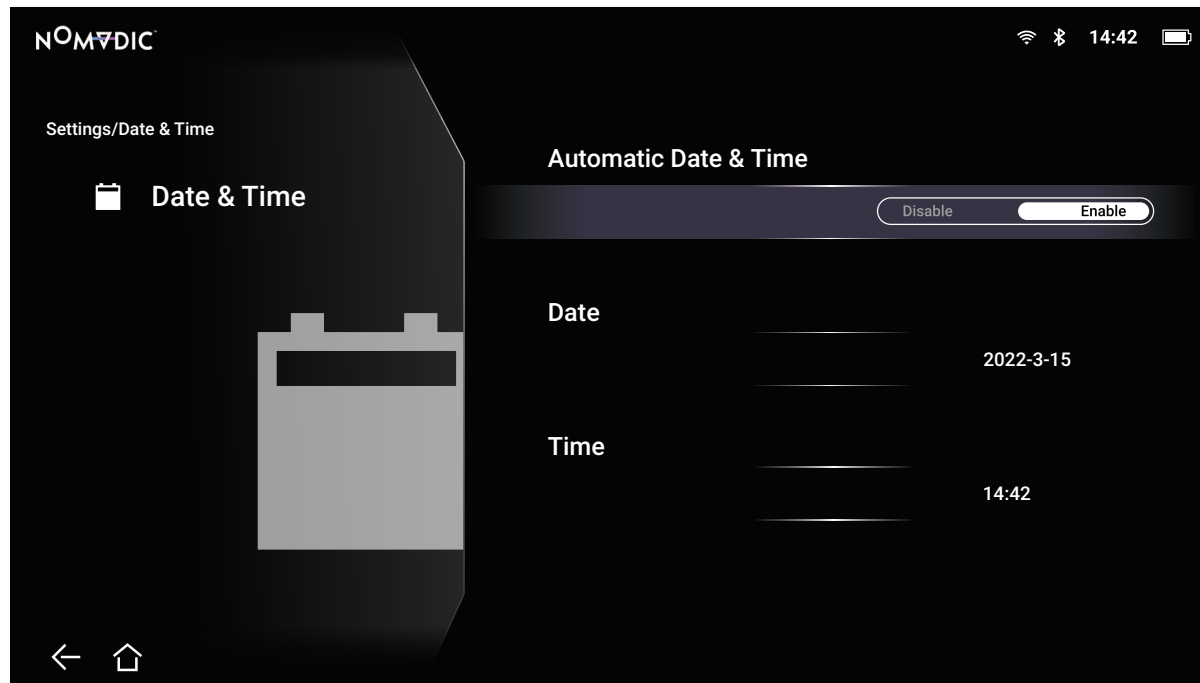
1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Setting (設定) > Network Settings (ネットワーク設定)**。



2. Wi-Fiおよびネットワーク設定を確認・調整します。
3. ワイヤレス接続を設定する場合は、28ページを参照してください。

Date & Time (日時)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム)** > **Setting (設定)** > **Date & Time (日時)**。

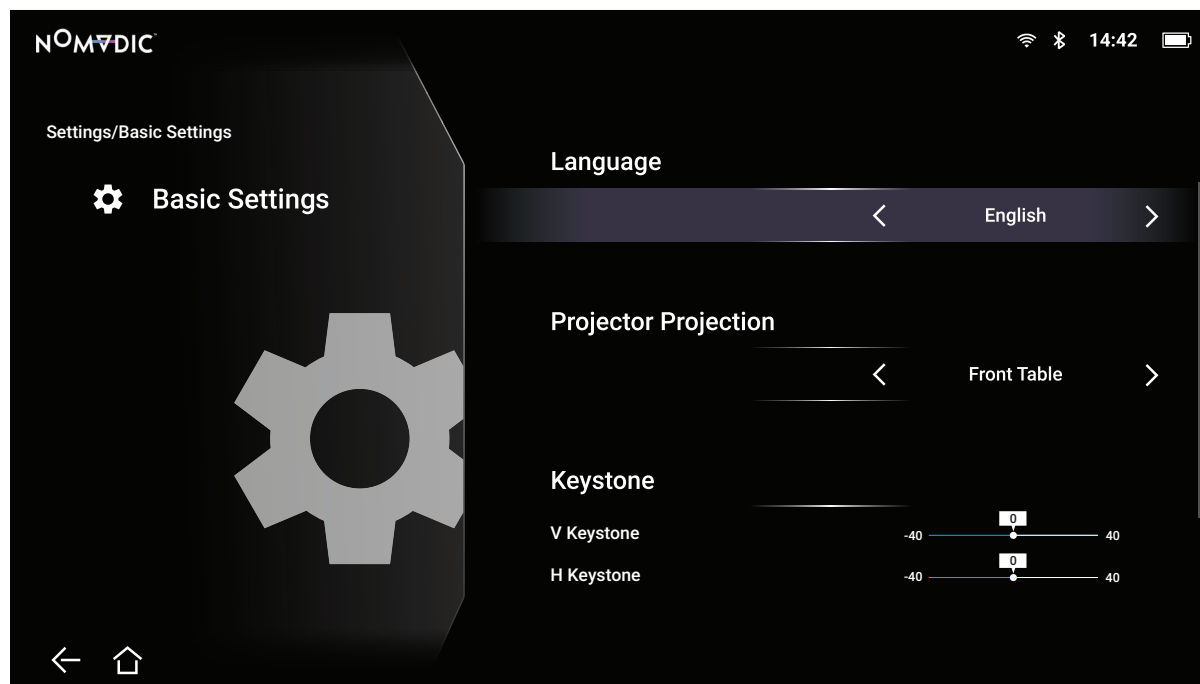


2. **上**および**下**ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、**OK**を押すか、**左**および**右**ボタンを使用して、調整または選択を行います。

メニュー	詳細
Automatic Date & Time (自動日時)	ユーザーはインターネットに接続した後に、日付と時刻を自動的に同期させることができます。 <u>Enable (オン)</u> 同期をオンにします。 <u>Disable (オフ)</u> 同期をオフにします。
Time Zone (タイムゾーン)	タイムゾーンを選択します。
Time Format (時刻形式)	表示時刻形式を選択します。 <u>12 hours (12時間)</u> 12時間制。 <u>24 hours (24時間)</u> 24時間制。

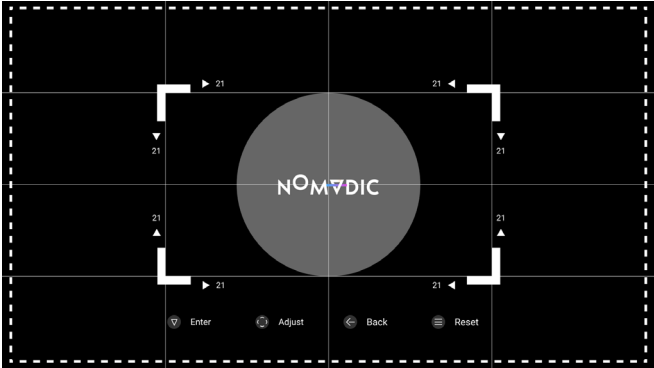
Basic Settings (基本設定)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム)** > **Setting (設定)** > **Basic Settings (基本設定)**。



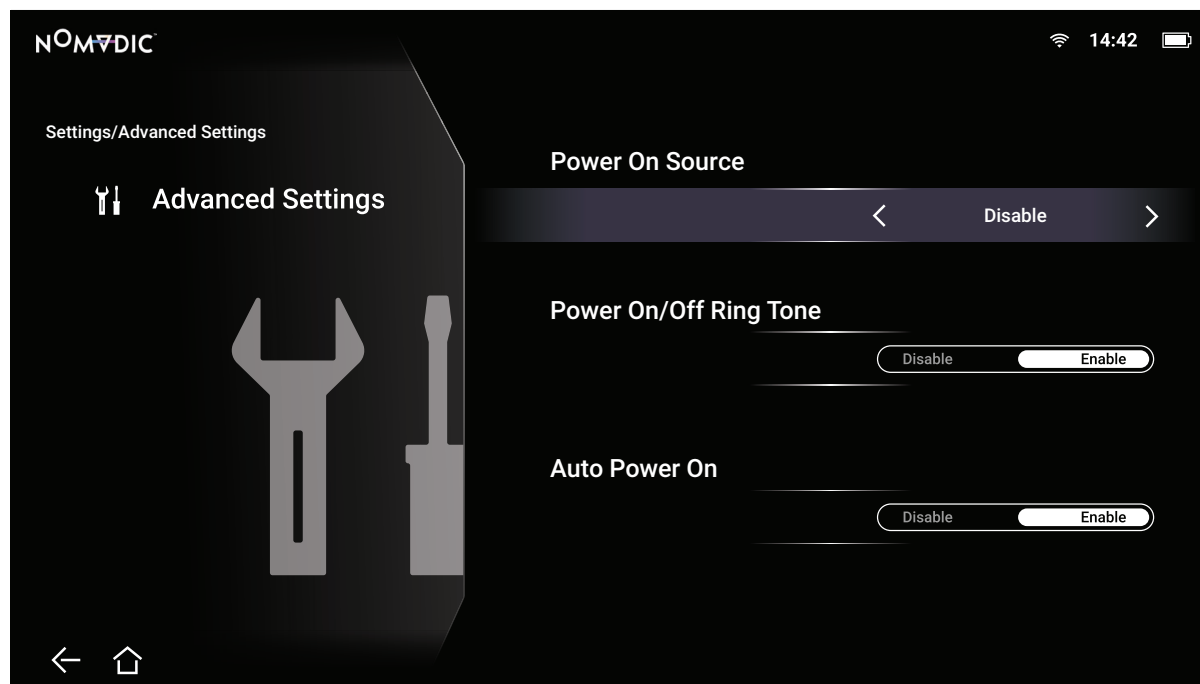
2. **上**および**下**ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、**OK**を押すか、**左**および**右**ボタンを使用して、調整または選択を行います。
3. 前のメニューに戻るには、**戻る**ボタンを押します。

メニュー	詳細
Language (言語選択)	希望の言語を選択します。
Projector Position (プロジェクターの位置)	好ましい投影位置を選択します。

メニュー	詳細
Keystone (キーストーン)	台形スクリーンの画像のゆがみを調整します。 <u>Horizontal Keystone (水平キーストーン)</u> キーストーンでは、水平方向のみを手動で調整できます。 <u>Vertical Keystone (垂直キーストーン)</u> キーストーンでは、垂直方向のみを手動で調整できます。 <u>4 Corner Adjustment (4コーナー調整)</u> 投影を最大限柔軟に行えるように、各コーナーを個別に調整します。  注記: 4コーナー調整がオンの場合、水平/垂直キーストーンは無効になります。
Zoom (ズーム)	ズームレベルを調整します。
Focus (フォーカス)	スクリーン画像のフォーカスを調整します。 <u>Manual Focus (手動フォーカス)</u> リモコンの左および右ボタンを使って、フォーカスを調整します。

Advanced Settings (詳細設定)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム)** > **Setting (設定)** > **Advanced Settings (詳細設定)**。



2. **上**および**下**ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、**OK**を押すか、**左**および**右**ボタンを使用して、調整または選択を行います。
3. 前のメニューに戻るには、**戻る**ボタンを押します。

メニュー	詳細
Power On Source (電源オンソース)	プロジェクターの電源を入れた直後に、ユーザーが希望のソースを入力できるようにします。
Power On/Off Ring Tone (電源オン/オフの呼び出し音)	電源オン/オフの呼び出し音を有効または無効にします。

メニュー	詳細
Smart Energy (スマートエネルギー)	<u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> 入力ソースが検出されなくなると、設定した時間が経過するとプロジェクターは自動的にオフになります。 <u>Sleep Timer (スリープタイマー)</u> 設定した時間が経過すると自動的にオフになります。 <u>Power Saving (省エネ)</u> 5分後に入力ソースが検出されない場合は、消費電力が少なくなります。 注記： 信号が5分間検出されないとき、LEDの消費電力は30%に変更されます。
Harman Kardon (ハーマン・カードン)	<u>Audio Mode (オーディオモード)</u> • Movie (映画)：デフォルトの音声モードです。 • Music (音楽)：音楽再生に最適です。 • User (ユーザー)：ユーザーがオーディオイコライザーをカスタマイズすることを許可します。 注記： ユーザーモードでは、100Hz、500Hz、1500Hz、5000Hz、および10000Hzを選択できます。 <u>Audio Volume (音量)</u> 音量を0から50に調整します。 <u>Mute (ミュート)</u> 音量をミュートまたはミュート解除します。

メニュー	詳細
Light Source Level (光源レベル)	LEDの適切な消費電力を選択します。 <u>Full (フル)</u> 100% <u>Eco (エコ)</u> 70% <u>Battery Saving (電池節約)</u> 40% 注記: X300を充電するために、USB-C接続されたパワーバンクを使用している場合、光源レベルは、Eco (エコ) およびBattery Saving (電池節約) にのみ切り替えることができます。
High Altitude Mode (高地モード)	環境が海拔1,500～3,000 m、気温が5℃～25℃の場合は、高地モードを使用することをお勧めします。 注記: 上記以外の極端な条件下でこのプロジェクターを使用すると、プロジェクターが過熱から保護されるように設計された自動シャットダウンの症状が現れることがあります。このような場合は、これらの症状を解決するために高地モードに切り替える必要があります。ただし、これは、このプロジェクターがあらゆる過酷または極端な条件下でも動作できることを示すものではありません。
Reset Settings (設定をリセット)	設定をデフォルトにリセットします。 注記: Language (言語)、High Altitude Mode (高地モード)、Projector Position (プロジェクターの位置)、Network Settings (ネットワーク設定)、AppsCenterにインストールされているすべてのアプリ、Add App (アプリの追加)、Bluetooth、Zoom (ズーム)、H/V Keystone (水平/垂直キーストーン)、4 Corner Adjustment (4コーナー調整)、Light Source Hours (光源時間) は変更されません。

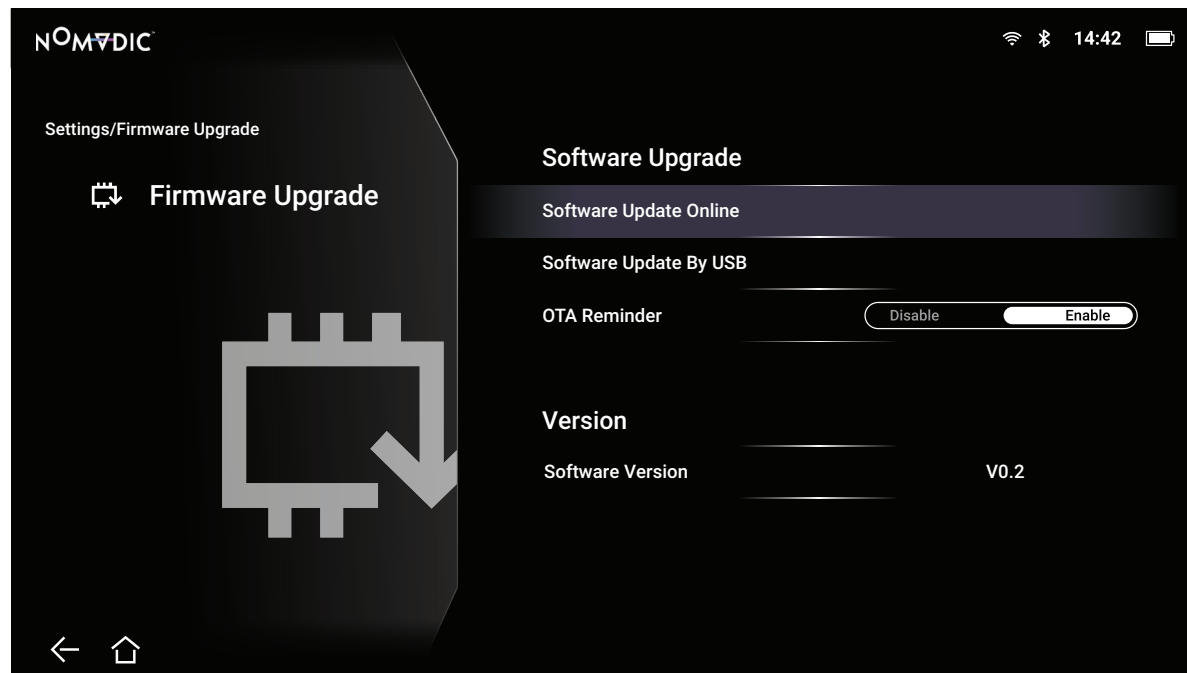
メニュー	詳細
Reset to Factory Default (工場出荷時デフォルトにリセ ット)	工場出荷時の設定にリセットします。 注記： 光源時間は変更されません。

Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード)

ユーザーは、オンラインまたはUSBによりファームウェアを更新し、バージョン番号を確認できます。

注記: アップグレードプロセス中に電源コード、USBを抜いたり、インターネットから切断したりしないでください。

1. **Firmware Upgrade (ファームウェア更新)** メニューに入る前に、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. 以下の要領でメニューに入ります。**Home (ホーム) > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード)**。



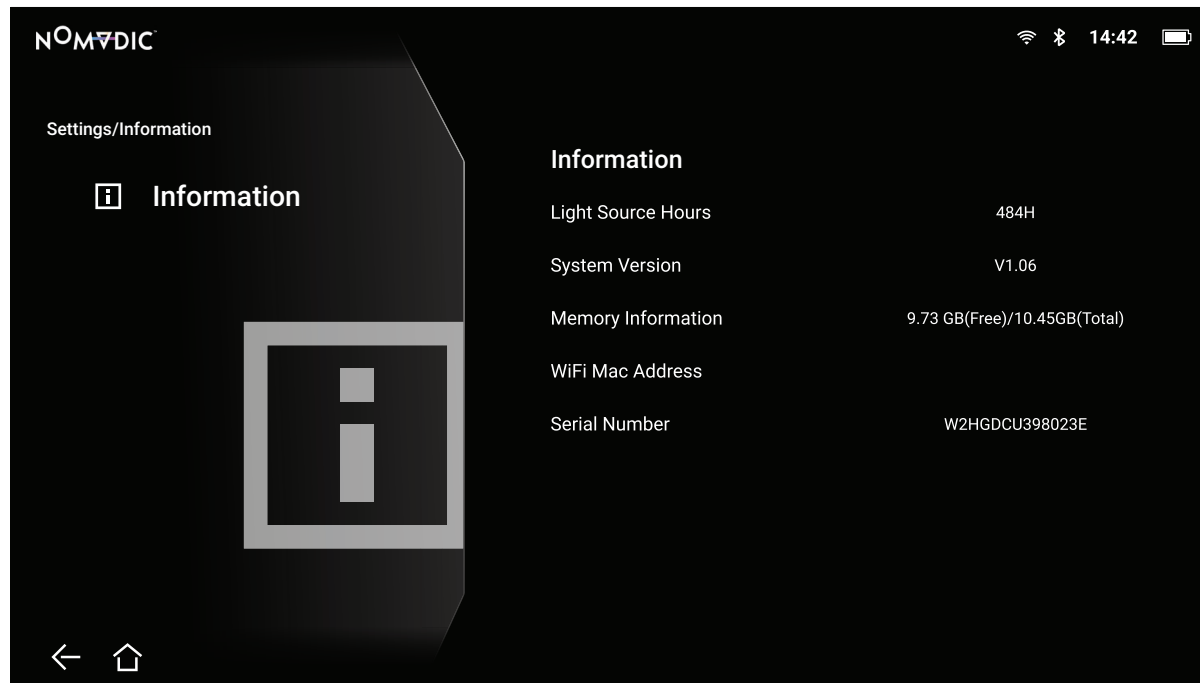
Firmware Update Online (オンラインファームウェア更新)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード) > Software Update Online (オンラインソフトウェア更新)**。
2. リモコンの**OK**を押して、**Enter (入力)**を選択します。
3. システムは、NOMVDIC Webサイト (OTA) を確認し、新しいファームウェアがある場合は、以下のダイアログメッセージを表示します。
4. **Yes (はい)**を選択すると、更新プロセスの開始時に進行状況バーが表示されます。
5. 100%に達した後、プロジェクターは再起動します。全体のプロセスは約10分かかります。
6. ファームウェアの更新後、プロジェクターを再起動するために数分かかります。

注記：アップデート中はプロジェクターの画面が約10分間暗くなります。

Information (インフォメーション)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム)** > **Setting (設定)** > **Information (インフォメーション)**。



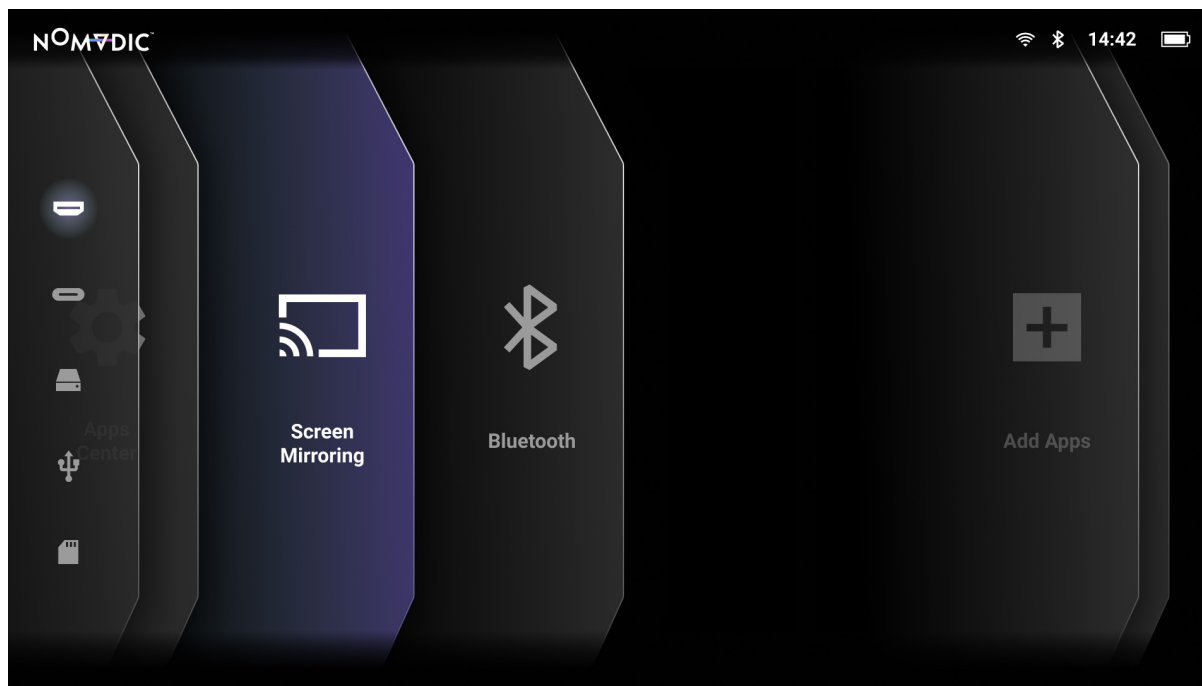
2. システムのステータスと情報を表示します。

注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも **Home Screen (ホーム)** に戻ることができます。

Screen Mirroring (画面ミラーリング)

個人用デバイスの画面をミラーリングします。ワイヤレス画面ミラーリングを設定する場合は、25ページを参照してください。

注記: デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。



Bluetooth

プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。詳細については、26ページを参照してください。



Add App (アプリを追加)

お気に入りのアプリを **Home Screen (ホーム画面)** に追加します。



1. **Home Screen (ホーム画面)** から、**Add App (アプリを追加)** を選択し、次に、リモコンの**OK**を押します。
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択し、**OK**を押します。
3. お気に入りのアプリが **Home Screen (ホーム画面)** に表示されます。

注記: 最大4つのアプリを**ホーム画面**に追加できます。

アプリをホーム画面から削除する

1. **Home Screen (ホーム画面)** から、削除するアプリを選択し、**OK**を3秒間長押しします。
2. 「Do you want to Delete this application from My Favorites? (このアプリケーションをお気に入りから削除しますか?)」というメッセージが表示されます。
3. **Yes (はい)** を選択し、**OK**を押して、アプリを削除します。

選択された入力ソース — オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

入力ソースを選択したら、**Image Setting (画像設定)**および**Advanced (詳細)**メニューを調整できます。

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Image Setting (画像設定)	Color Mode (カラーモード)	Brightest (最も明るい)		
		TV (テレビ)		
		Movie (映画)		
		Gaming (ゲーム)		
		User 1 (ユーザー1)		
		User 2 (ユーザー2)		
	Brightness (輝度)	(-/+、0～100)		
	Contrast (コントラスト)	(-/+、0～100)		
		6500K		
		7500K		
		9300K		
	Color Temp (色温度)	User (ユーザー)	Red Gain (赤ゲイン)	(-/+、0～100)
			Green Gain (緑ゲイン)	(-/+、0～100)
			Blue Gain (青ゲイン)	(-/+、0～100)
			Red Offset (赤オフセット)	(-/+、0～100)
			Green Offset (緑オフセット)	(-/+、0～100)
			Blue Offset (青オフセット)	(-/+、0～100)
	Tint (色合い)	(-/+、0～100)		

メインメニュー		サブメニュー		メニューオプション	
Image Setting (画像設定)	Saturation (彩度)	(-/+、0～100)			
	Sharpness (シャープネス)	(-/+、0～100)			
	Gamma (ガンマ調整)	1.8			
		2.0			
		2.2			
		2.35			
		2.5			
		sRGB			
	Cubic (キュービック)				
	Color Management (色管理)	Primary Color (原色)	Red (赤)		
			Green (緑)		
			Blue (青)		
			Cyan (藍色)		
			Magenta (深紅色)		
			Yellow (黄色)		
		Hue (色相)	(-/+、0～100)		
		Saturation (彩度)	(-/+、0～100)		
		Gain (ゲイン)	(-/+、0～100)		
	Reset Current Color Settings (現在の色設定をリセット)	OK			

メインメニュー		サブメニュー		メニューオプション	
Advanced (高度)	Aspect Ratio (アスペクト比)	Auto (自動)			
		4:3			
		16:9			
		16:10			
	Zoom (ズーム)	0.8x~1.0x			
	Light Source Level (光源レベル)	Full (フル)			
		Eco (エコ)			
		Battery Saving (電池節約)			
	HDMI設定	Range (範囲)	Auto (自動)		
			Full Range (全範囲)		
			Limited (限定)		
	3D Sync (3D同期)	3D Format (3D形式)	Auto (自動)		
			Disable (オフ)		
			Frame Sequential (フレームシーケンシャル)		
			Frame Packing (フレームパッキング)		
			Top-Bottom (トップ・ボトム)		
			Side-by-Side (サイド・バイ・サイド)		
		3D Sync Invert (3D同期反転)	Disable (オフ)		
			Invert (反転)		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Advanced (高度)	Harman Kardon (ハーマン・カードン)	Audio Mode (オーディオモード)	Movie (映画)		
			Music (音楽)		
			User (ユーザー)	100Hz	
				500Hz	
				1500Hz	
				5000Hz	
				10000Hz	
	Audio Volume (音量)	(-/+、0～50)			
	Mute (ミュート)	Disable (オフ)			
		Enable (オン)			
	Information (インフォメーション)	Source (ソース)			
		Resolution (解像度)			
		3D Format (3D形式)			

Image Setting (画像設定) メニュー

入力ソースを選択したら、**Image Setting (画像設定)**メニューを調整できます。

Image Setting (画像設定)メニューにアクセスするには：

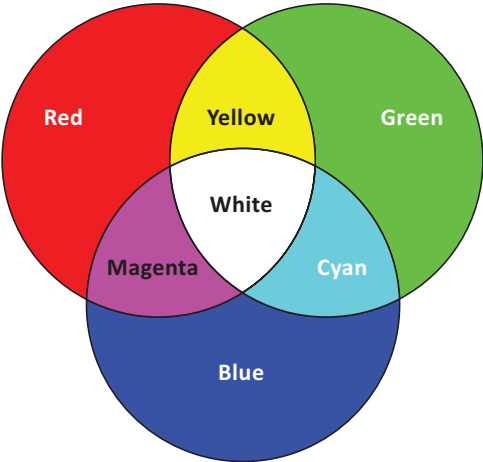
1. リモコンの **Setting (設定)** を押します。
2. リモコンの**左**および**右**方向ボタンを使って、**Image Setting (画像設定)** オプションを選択します (該当する場合)。



3. 続いてリモコンの**上**および**下**ボタンを使って、サブメニューを選択します。
4. 次に、リモコンの**左**および**右**ボタンを使って、サブメニューに入るか、設定を調整します。
5. リモコンの**戻る**ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

メニュー	詳細
Color Mode (カラーモード)	プロジェクターは、動作環境と入力信号に合わせて選択できるように、いくつかの定義済みピクチャモードでプリセットされています。 <u>Brightest (最も明るい)</u> 投影画像の明るさを最大にします。このモードは、非常に高い明るさが必要な環境、つまり明るい部屋に適しています。 <u>TV (テレビ)</u> 明るい環境でスポーツを見るために最適化されています。 <u>Gaming (ゲーム)</u> ビデオゲーム用に設計されています。 <u>Movie (映画)</u> カラフルな映画、デジタルカメラのビデオクリップ、またはPC入力によるDVIに適しています。暗い場所での使用に最適です。 <u>User 1/User 2 (ユーザー1/ユーザー2)</u> カスタマイズされたユーザー設定を呼び出します。 注記： HDMI/USB-C信号入力にのみ対応しています。
Brightness (輝度)	値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。  30 50 80

メニュー	詳細
Contrast (コントラスト)	選択した入力と視聴環境に合うように、Brightness (輝度) 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。 
Color Temp (色温度)	色温度を選択し設定することができます。 ・ 6500K: 通常の白の着色を維持します。 ・ 7500K: 6500Kより高い、より冷たい色温度。 ・ 9300K: 最高の色温度。画像を最も青白く見せます。 ・ User Color (ユーザーカラー設定): RGBの値をお好みに設定できます。
Tint (色合い)	値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。
Saturation (彩度)	ビデオ画像のその色の量を指します。設定を低くすると、彩度が低くなります。実際、「0」に設定すると、画像からその色が完全に削除されます。彩度が高すぎると、その色が圧倒的になり、非現実的になります。
Sharpness (シャープネス)	値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。
Gamma (ガンマ調整)	入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。

メニュー	詳細
Color Management (色管理)	会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、Color Management (色管理) を検討する必要があります。  Color Management (色管理) は、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。 さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Management (色管理) メニューに入り、調整することができます。
Reset Current Color Settings (現在の色設定をリセット)	現在の色設定をデフォルト値に戻します。

Advanced Setting (詳細設定) メニュー

入力ソースを選択したら、**Advanced Setting (詳細設定)** メニューを調整できます。

Advanced Setting (詳細設定)メニューにアクセスするには：

1. リモコンの **Setting (設定)** を押します。
2. リモコンの**右**ボタンを使用して、**Advanced Setting (詳細設定)** を選択します。



3. 続いてリモコンの**上**および**下**ボタンを使って、サブメニューを選択します。
4. 次に、リモコンの**左**および**右**ボタンを使って、サブメニューに入るか、設定を調整します。
5. リモコンの**戻る**ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

メニュー	詳細
Aspect Ratio (アスペクト比)	Aspect Ratio (アスペクト比) は、画像の幅と画像の高さの比です。デジタル信号処理の出現により、このプロジェクターのようなデジタル表示装置は、画像入力信号とは異なるアスペクトに画像出力を動的に伸縮させることができます。 注記： HDMI/USB-C信号入力にのみ対応しています。 <u>Auto (自動)</u> プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。 <u>4:3</u> 4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。 <u>16:9</u> 16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。 <u>16:10</u> 16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これはすでに16:10のアスペクト比の画像に最も適しています。
Zoom (ズーム)	ズームレベルを調整します。
Light Source Level (光源レベル)	LEDの適切な消費電力を選択します。

メニュー	詳細
HDMI Setting (HDMI設定)	<u>Range (範囲)</u> 接続している出力機器の色域設定に応じて、適切な色域を選択します。 • Auto (自動)：入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。 • Full (フル)：色範囲を0～255に設定します。 • Limited (限定)：色範囲を15～235に設定します。
3D Sync (3D同期)	画像の奥行きを表現することで、3Dメガネをかけながら、よりリアルな方法で3D映画、ビデオ、スポーツイベントを楽しむことができます。 <u>3D Format (3D形式)</u> • Auto (自動) • Disable (オフ) • Frame Sequential (フレームシーケンシャル) • Frame Packing (フレームパッキング) • Top-Bottom (トップ・ボトム) • Side-by-Side (サイド・バイ・サイド) <u>3D Sync Invert (3D同期反転)</u> 3D画像の奥行きが反転している場合は補正できます。

メニュー	詳細
Harman Kardon (ハーマン・カードン)	<u>Audio Mode (オーディオモード)</u> • Movie (映画)：デフォルトの音声モードです。 • Music (音楽)：音楽再生に最適です。 • User (ユーザー)：ユーザーがオーディオイコライザーをカスタマイズすることを許可します。 注記： ユーザーモードでは、100Hz、500Hz、1500Hz、5000Hz、および10000Hzを選択できます。 <u>Audio Volume (音量)</u> 音量を0から50に調整します。 <u>Mute (ミュート)</u> 音量をミュートまたはミュート解除します。
Information (インフォメーション)	入力ソース、解像度、3D形式を表示します。

付録

仕様

項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	0.23インチ1080p - フルHD、LED
	画面サイズ	40"~110"
	投射距離	0.982.87 m (80" @ 2.06 m)
	レンズ	F = 1.7、f = 6.35 mm
	光学ズーム	固定
	光源タイプ	RGB LED
	光源	30,000 hours (12時間)
	表示色	10億7000万色
	キーストーン	垂直: -/+ 40°、水平: -/+ 40°
入力信号	HDMI	f _h : 30K~97 kHz, f _v : 24~85 Hz,
解像度	標準	1920 x 1080
	サポート	VGA (640 x 480) からフルHD (1920 x 1080)
ローカルストレージ	合計	16 GB
	利用可能	10 GB

入力	HDMI	1 (HDMI 1.4、HDCP 1.4)	
	SDカード	マイクロSD (最大256 GB、SDXCをサポート)	
	USB Type C	1 (5V/2A)	
	USB Type A	1 (USB 2.0リーダー)	
	Wi-Fi入力	1 (5G、802.11 a/b/g/n)	
	音声入力 (3.5 mm)	1	
	Bluetooth入力	1 (BT 4.2/音声入力)	
出力	音声出力 (3.5 mm)	1	
	Bluetooth出力	1 (BT 4.2/音声出力)	
	スピーカー	8Wキューブ x 2 (ツイーター + ウーファー) x 2	
	USBタイプA (電源)	1 (USB 2.0、5V/2A、リーダーと共有)	
電源アダプタ	入力電圧	DC入力100～240V、50/60 Hz (自動切替)	
動作環境	気温	0°C～40°C (32°F～104°F)	
	湿度	0%～90% (非結露)	
寸法	寸法 (W x H x D)	276 x 165 x 157 mm (10.87" x 6.50" x 6.18")	デフォルト設定
		276 x 165 x 171 mm (10.87" x 6.50" x 6.73")	円錐脚付き
重量	寸法	2.8 kg (6.17 ポンド)	
節約モード	オン	90W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

タイミングチャート

HDMIビデオタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
576i	720(1440) x 576	15.63	50	27
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5

HDMI PC

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
640 x 480	59.94	31.469	25.175
	72.809	37.861	31.5
	75	37.5	31.5
	85.008	43.269	36
720 x 400	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	60.317	37.879	40
	72.188	48.077	50
	75	46.875	49.5
	85.061	53.674	56.25
	119.854	77.425	83
1024 x 576	60	35.82	46.966
1024 x 600	64.995	41.467	51.419
1024 x 768	60.004	48.363	65
	70.069	56.476	75
	75.029	60.023	78.75
	84.997	68.667	94.5
	119.989	97.441	115.5
1152 x 864	75	67.5	108
1280 x 720	60	45	74.25

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
1280 x 768	59.87	47.776	79.5
1280 x 800	59.81	49.702	83.5
	74.934	62.795	106.5
	84.88	71.554	122.5
1280 x 960	60	60	108
	85.002	85.938	148.5
1280 x 1024	60.02	63.981	108
	75.025	79.976	135
	85.024	91.146	157.5
1360 x 768	60.015	47.712	85.5
1400 x 1050	59.978	65.317	121.75
1440 x 900	59.887	55.935	106.5
1600 x 1200	60	75	162
1680 x 1050	59.954	65.29	146.25
1920 x 1080 (VESA)	60	67.5	148.5
640 x 480 @ 67Hz	66.667	35	30.24
832 x 624 @ 75Hz	74.546	49.722	57.28
1024 x 768 @ 75Hz	75.02	60.241	80
1152 x 870 @ 75Hz	75.06	68.68	100

USB Cのタイミング

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	59.94	15.73	27
480p	59.94	31.47	27
576i	50	15.63	27
576p	50	31.25	27
720/50p	50	37.5	74.25
720/60p	60	45	74.25
1080/50i	50	28.13	74.25
1080/60i	60	33.75	74.25
1080/24p	24	27	74.25
1080/50p	50	56.25	148.5
1080/60p	60	67.5	148.5

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	- 電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 - 冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。 - 上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。
画像が表示されない	- ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。 - 入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンのSource (ソース) キーで正しいソースを選択してください。
画像がぼやけている	Focus (フォーカス) ボタンを押してから、リモコンの左および右ボタンを使用して、画像の鮮明度を改善することができます。それ以外にも、Focus Adjustment Slider (フォーカス調整スライダー) を使用して画像を鮮明にすることもできます。 - プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。
リモコンが機能しない	- リモコンとプロジェクターの間に障害物がなく、それらが互いの8 m (26フィート) 以内にあることを確認してください。 - 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。
プロジェクター/システムはフリーズしており、応答しません	背面のI/Oで Power Toggle (電源オン/オフ) スイッチを使用し、プロジェクターの電源をオフにします。

LED インジケーター

場所	ライト	ステータスと説明
LEDインジケーター	Green (緑) (点滅：2秒間消灯、1秒間点灯)	システムが起動中です。
	Green (緑)	起動終了後：システムがオンです。ミラーが開いています。
	Blue (青)	起動終了後：システムがオンです。ミラーが閉じています。
	消灯	システムがオフです。
電池	White (白色)	DC入力：電池がフル充電されるまで、LEDは左から右へループ点灯され続けます。 電池：LEDは左から右へ点灯され、電池の残量レベルで止まります。
Bluetooth	White (白色)	Bluetooth設定ページを開いて、システムのBluetoothをオンにします。
	White (白色、1分間点滅)	Bluetoothのペアリングモードです。
	消灯	Bluetoothをオフにします。
AUX	White (白色)	ソースの音声を再生します。
	消灯	ソースから切断されます。
ミュート	White (白色)	音声をミュートします。
	消灯	音声のミュートを解除します。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- ・ プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- ・ プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品の交換が必要な場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。
- ・ 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- ・ プロジェクターは十分注意してお取扱ってください。暗い色のプロジェクターに傷がついた場合、明るい色のプロジェクターよりもはっきりと跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ・ ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- ・ それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意：レンズを研磨剤でこすらないでください。

プロジェクターを保管する

- プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。
- ・ 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
 - ・ アジャスターフットを完全に引き込みます。
 - ・ リモコンから電池を取り出します。
 - ・ プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- ・ レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ・ NOMVDIC™は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーケティングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

FCC放射線被ばく声明

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCC放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間、に最低20 cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

IC警告に関する声明

本装置は、カナダ産業省の免税RSS規格に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

国コードに関する声明

米国/カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル1から11のみを操作できます。他のチャンネルの選択はできません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

IC放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められたIC RSS-102放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の間に最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。5150～5825 MHz帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps. Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage.

5150～5250 MHz帯域の動作は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

La bande 5150-5250 MHz est réservée uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

欧州諸国のCE適合



本製品はEMC指令2014/30/EU、低電圧指令2014/35/EU、エコデザイン指令2009/125/EC、無線機器指令2014/53/EUに適合しています。周波数範囲：2400-2483.5MHz、5150-5250MHz 最大出力電力：20dBm未満

次の情報は、EU加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収し、回収システムを使用する必要があることを示しています。

本製品に搭載される電池、アキュムレータ、ボタン型電池にHg (水銀)、Cd (カドミウム)、Pb (鉛) が表示される場合、電池には0.0005%を越える水銀、0.002%を越えるカドミウム、0.004%を越える鉛の、いずれかの重金属が含まれていることを示します。



RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr ⁶⁺)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 鉛を重量4 %まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85 %以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。
- 定格電圧が125 VACまたは250 VDC以上のコンデンサの誘電体セラミック中の鉛。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えるものを使用することが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

著作権情報

Copyright© NOMVDIC Corporation, 2021-2022. All rights reserved. 版權所有。

NOMVDIC™はNOMVDIC Corporationの商標であり、米国とその他特定の国々で商標を登録されています。

免責条項：本書で示されるサードパーティ製のアプリケーションやアプリストアは参考目的のみであり、それぞれのロゴや商標は各所有者の所有物です。また、各所有者は当社の製品をスポンサーしたり、利害関係を持つものではありません。

カスタマーサポート

技術サポートは、<https://nomvdic.io/pages/contact>へお問い合わせいただくか、hello@nomvdic.ioまでメールでご連絡ください。

NOMVDIC™製品の保証登録を行う場合は、<https://nomvdic.io/pages/warranty>をご覧ください。

注記：製品のシリアル番号が必要です。

限定保証

保証内容：

NOMVDIC™は、保証期間中、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、NOMVDIC™は、唯一の救済策として、修理するか、あるいは類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。交換用の部品または製品は、お客様の元の限定保証に残っている期間について保証されます。NOMVDIC™は、製品に付属しているか、お客様がインストールしたサードパーティソフトウェア、認可されていないハードウェア部品またはコンポーネントをインストールした場合でも、いかなるサードパーティソフトウェアも保証しません。（「保証対象外」のセクションをご覧ください）

保証期間：

NOMVDIC™プロジェクター

1年間の限定保証

リモコン

6か月の限定保証

ACアダプター

6か月の限定保証

保証対象者：

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外：

1. この保証は、電池、電源コード、3.5mmオーディオケーブル、USB-Cケーブルなどの消耗材の自然な劣化は対象外とします。ただし、素材や製造が理由で障害が発生した場合は対象となります。素材や製造が理由の場合でも、乱用、事故、改造、不許可の修理やその他の原因は対象外とします。
2. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
3. 以下に起因する損傷、劣化または誤動作：

- » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
- » NOMVDIC™の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- » プログラム、データ、またはリムーバブル記憶媒体の損傷または紛失。
- » 出荷による製品の損傷。
- » 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- » 通常の損耗。
- » ユーザーが清掃可能なプロジェクターのフィルターの清掃など、取扱説明書に記載されている定期的な製品メンテナンスの実施不足。
- » 製品の欠陥に関係しないその他の原因。
- » ハードウェア/付属品/部品/コンポーネント - 許可されていないハードウェア、付属品、コンポーネントの設置。
- » 製品のユーザーガイドに記載されている不適切な清掃によるディスプレイ表面のコーティングの損傷または濫用による損傷。

サービスを受ける方法：

保証サービスを受ける方法の詳細は、hello@nomvdic.ioへお問い合わせください。サービスを受ける場合は、以下の情報をお手元に準備してください。

- 製品のシリアル番号
- 日付の記載された販売証明のコピー
- お名前
- メールアドレス
- 電話番号
- 配送先の住所
- 問題の説明

NOMVDIC™はお客様が指定した運送業者による破損に責任を負うことはありません。

指定された運送業者が配送に関わる問題を起こす事態に備えて、返却される製品に保険をかけることをお勧めします。

